

平成 30 年度
教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書

平成 29 年度事業分

八戸市教育委員会

— 目 次 —

I 学識経験者からの総評	2
II 点検及び評価	
1 点検及び評価概要	5
2 目標ごとの点検及び評価	7
3 事業担当課による点検及び評価	
【重点取組】	
目標ごとの点検及び評価	14
<i>方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します</i>	
目標 1 就学前教育の充実	16
目標 2 義務教育の充実	18
目標 3 高等学校教育・高等教育の充実	30
<i>方向性 II 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます</i>	
目標 4 文化財の保存と活用	33
<i>方向性 III 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います</i>	
目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実	39
<i>方向性 IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します</i>	
目標 6 参加と連携の推進	42
目標 7 社会教育・家庭教育の充実	43
<i>方向性 V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します</i>	
目標 9 生涯学習の充実	45
※目標 8 「青少年の健全育成」には、重点取組なし	
【重点取組以外の取組】	52
III 参考資料	
1 教育委員会の活動状況	85

I 学識経験者からの総評

上條 秀信

平成29年度の78事業の全てが、各担当課の意欲あふれる取組により、高い達成率のもと、成果と課題を明確にして終了したことの意味の大きさを、今、強く実感している。報告書の1ページ1ページから各課の「思い」が伝わってきて、誠に心強い限りである。

この報告書の大きな役割の一つに「評価の根拠を分かりやすく伝えること」がある。その点についても、随所に各課の工夫が見られ、心より敬意を表する次第である。全ての事業の報告で可能とは言い切れないが、前年度との比較ができることで、閲覧者は「評価」について理解しやすくなる。その意味では、「ブックスタート事業」、「教育相談・適応指導教室」、「教職員のICT活用指導力の育成」、「古文書の整理・解読の推進」、「八戸市民大学講座」、「図書館の利用促進」等の事業における「数的根拠の比較提示のある評価理由」は、閲覧者にとって分かりやすいものとなっている。今後も、数字に限らず様々な方面から、「より分かりやすい報告」に努めていただけることを期待したい。

今回は、「第1期八戸市教育振興基本計画」の計画期間の終了にあたって、過去5年間の評価及び取組のまとめが掲載されており、工夫・改善しながら真摯に取り組んできたこの5年間の歩みを確認できたことを嬉しく思う。続く「第2期八戸市教育振興基本計画」の推進に向けても、各種施策・事業が着実に展開されることを大いに期待している。

前田 稔

平成29年度は、「第1期八戸市教育振興基本計画」の終了年度であったため、「目標ごとの点検及び評価」に過去5年間の評価及び取組の「まとめ」が記載された。これは進捗状況を知る上で、市民にとって分かりやすく、大変有意義であると感じた。

78の事業について点検及び評価が行われたが、全ての事業が「計画どおり達成できた」、あるいは「計画以上に達成できた」という点は、多くの関係者の努力の賜であり、賞賛に値する。殊に「情報教育の推進」3事業に関して、長らく「○」であったものが、今年度全て「◎」となったことは特筆すべきものとする。これは昨年1月に中核市に移行し、教育部門において県費負担教職員の研修が移譲されたことに伴い、本市の長年の課題でもあった「教職員のICT活用指導力育成」のための研修に市独自の工夫を凝らし、受講者が納得のいく研修ができたことを物語っている。このことは八戸市教育情報ネットワークシステム（HENS）の利用促進を図るものであり、さらに本市小・中学生のICT活用能力の向上に直結するものであることから、今後ますますハード・ソフト両面の充実が期待される。

その他、就学前教育の充実ぶりは際立っており、「本のまち八戸」構想を支えている各種事業の充実、地域を核とした地域密着型教育の充実も本市の誇りである。

「第2期八戸市教育振興基本計画」においても「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」という基本理念が継承されており、市教育委員会の各部署が新たな方向性をしっかりと受け止め、その達成に向けて邁進することを期待するものである。

平間 恵美

平成25年からの「第1期八戸市教育振興基本計画」が終了となる平成29年度も、78事業を無事に遂行できましたことは、大変喜ばしく、この5年間の担当職員の努力は大きく、評価すべきところであります。平成29年1月より中核市としてスタートを切りましたが、教育の視点だけではなく、今後の八戸のまちづくりにおいて、重要な役割を果たす事業も多くあったと思います。中でも「地域密着型教育推進事業」、「本のまち八戸」を掲げた「ブックスタート事業」や「マイブック推進事業」、「八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進」などを、高い事業評価で終えたことは、各担当部局等との連携の成果と考えます。

さらに八戸の大きな特色でもある、公民館を核とした自主防災や生涯学習、家庭教育関連の事業は、多くの市民の人材育成につながり、その力が、各地域の活性化に大きな力となったと思います。

教育の充実においては、「幼保小連携推進事業」、「小・中ジョイントスクール推進事業」、「特別支援教育体制整備事業」など、高い評価で終わっているものの、厳しい社会情勢や子どもが抱える多様な問題も踏まえ、福祉分野との連携も深めながら、今後の事業の遂行が行われることを期待します。

また、八戸市の豊かな自然と文化財の保護、保存は更に力を入れるべきと考えます。同時に、八戸の誇り・魅力として、全国・世界に発信できるような事業を、教育の一環として考えていくことが、グローバルで活躍する子どもたちの愛着心や自己の肯定感の確立に大きな力となると思います。

事業の点検及び評価を実施するにあたっては、事業計画の進捗状況や参加人数、対前年度比などで、成果や効果が求められるところではありますが、現場の苦労や努力が目に見えないところについては、歯がゆいところでもあります。しかし、この5年間の事業が、第1期八戸市教育振興基本計画の冒頭に掲げられていた、「郷土に対する誇りと愛着を基盤に、困難を克服するための「生きる力」をはぐくむ教育」と、「人と人との絆を結び、あらゆる世代がいきいきとかがやく教育」に向け、確実に進んでいると確信しております。

今後も市民力を結集して、「八戸の教育」が実践されることを心よりお願い申し上げます。

II 点検及び評価

1 点検及び評価概要

(1) 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成19年法律第97号）により、平成20年4月1日から、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすために、平成29年度の事業の点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

なお、第1期八戸市教育振興計画の5年間の計画期間が、平成29年度で終了するため、「2 目標ごとの点検及び評価」では、過去5年間の評価及び取組のまとめを記載しています。

(2) 対象事業

① 対象事業

本報告書の点検・評価は、第1期八戸市教育振興基本計画に基づいて、平成29年度に教育委員会が実施した事務事業を対象としているものであり、基本計画策定後の新規事業も対象としています。

② 対象事業数

区 分	事業数	
基本計画掲載事業	79 事業	… a
市長事務部局所管事業	4 事業	… b
評価対象外事業※	2 事業	… c
新規事業	5 事業	… d=e+f
平成 26 年度より実施している重点事業	3 事業	… e
平成 27 年度より実施している重点事業	2 事業	… f
点検・評価対象事業数	78 事業	… a-b-c+d

※評価対象外事業：事業の完了、見直し及び廃止により実施しなかった事業

評価の欄に「－」で表示

(3) 点検及び評価の方法

① 各事業の評価

事業担当課が実施状況等をまとめ、次の3段階で評価しました。

評価区分	評価基準
◎	計画以上に達成（対応）できた
○	概ね計画どおり達成（対応）できた
△	計画には及ばなかった

② 各目標の評価

上記①の点検・評価に基づき、各目標について、次の4段階で評価しました。

評価区分	評価基準
S	全て「○（概ね計画どおり達成）」以上で、かつ「◎（計画以上に達成）」が65%以上
A	「○（概ね計画どおり達成）」及び「◎（計画以上に達成）」の構成割合が90%以上
B	「○（概ね計画どおり達成）」及び「◎（計画以上に達成）」の構成割合が70%以上90%未満
C	「○（概ね計画どおり達成）」及び「◎（計画以上に達成）」の構成割合が70%未満

③ 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し、高い識見を有する学識経験者3名の方から、御意見をいただいております。

2 目標ごとの点検及び評価

方向性Ⅰ 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します

子どもたちが変化する社会・厳しい経済環境を生き抜き、豊かな人生を歩んでいくためには、確かな学力と、学力を活かすための豊かな心、学力や心を宿すための健やかな体の育成が大切です。就学前教育・義務教育・高等教育の各段階を通して、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成します。

【まとめ】

学校・家庭・地域が連携した組織づくりや学びの連続性を意識した校種間連携等の体制の充実を図ったほか、子どもたち一人一人の教育的ニーズの増加に対応し、相談・支援体制等の拡充に努めた。

また、「本のまち八戸」の推進のため、関係部署との連携に努めながら、各世代に応じた新たな取組を展開するとともに、本に親しむ環境づくりや効果的な活用が図られるよう事業の見直しを行った。

さらに、情報教育の推進を図るため、ICT環境の充実や教員のICT活用指導能力等の向上に努めた。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価				
				H25	H26	H27	H28	H29
目標1 就学前教育の充実				S	S	S	S	S
①就学前教育内容の充実	重点	1	幼保小連携推進事業	◎	◎	◎	◎	◎
②就学前教育環境の整備・充実		2	私立幼稚園補助金	◎	◎	◎	◎	◎
	重点	3	ブックスタート事業 (※26)	△	○	◎	◎	◎
目標2 義務教育の充実				A	A	A	A	A
①教育内容・指導の充実		4	学校訪問(計画訪問・要請訪問)	○	○	○	○	○
	重点	5	地域密着型教育推進事業	○	○	◎	◎	◎
		6	さわやか八戸グッジョブウィーク事業	○	○	○	○	○
		7	学力実態調査	○	○	○	○	○
	重点	8	小・中学校ジョイントスクール推進事業	◎	◎	◎	◎	◎
		9	各種研修の実施	○	○	○	◎	◎
		10	いじめの問題に対する取組	○	○	○	○	○
		11	学校飼育動物ネットワーク支援事業	○	○	◎	◎	◎
		12	いのちを育む教育アドバイザー事業	◎	◎	◎	◎	◎
	重点	13	教育相談・適応指導教室	○	◎	◎	◎	◎
②特別支援教育の充実	重点	14	特別支援教育アシスト事業	○	◎	◎	◎	○
	重点	15	特別支援教育体制整備事業	○	○	◎	◎	◎
③健康に関する指導の充実		16	「新体力テスト」の結果の活用	○	○	○	○	○
		17	栄養教諭・学校栄養職員の活用	◎	◎	◎	◎	◎
	重点	18	学校保健活動の実施	○	○	◎	◎	◎
④教育環境の整備・充実		19	学校図書館を利活用した教育の充実	○	○	○	○	○
	重点	20	学校施設の整備	◎	◎	◎	◎	◎
		21	新学校給食センター建設事業	○	○	○	○	◎
	重点	22	小・中学校適正配置事業	◎	○	○	○	○
	重点	23	マイブック推進事業 (※26)	△	○	◎	◎	◎
	重点	24	西白山台小学校建設事業(※26)	△	○	○	○	○
⑤国際理解教育の推進		25	青少年派遣交流事業	◎	◎	◎	◎	◎
	重点	26	国際理解教育・英語教育推進事業	○	○	○	○	○

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価				
				H25	H26	H27	H28	H29
⑥情報教育の推進	重点	27	教育の情報化推進事業	○	○	○	○	◎
		28	教職員の ICT 活用指導力の育成	○	○	○	○	◎
		29	情報モラル指導の充実	○	○	○	○	◎
目標3 高等学校教育・高等教育の充実				A	A	S	S	S
①高等学校教育・高等教育の充実	重点	30	八戸市奨学金制度	○	○	◎	◎	◎
		31	私立高等学校助成補助金	◎	◎	◎	◎	◎
	重点	32	公開講座開催促進事業（※27）	△	△	○	○	◎

※26…平成 26 年度新規事業

※27…平成 27 年度新規事業

方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます

郷土に対する誇りと愛着が、グローバル化する世界で活躍するための基盤となります。八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然を後世に継承し、市民が親しむことができるよう整備することにより、郷土八戸への愛情をはぐくみます。

【まとめ】

古くから受け継がれてきた伝統芸能の保存・伝承のため、後継者育成への支援及び積極的な周知活動を展開した。また、八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録を通じて、八戸が誇る文化財の価値や意義を広く周知することができた。

さらに、『新編 八戸市史』刊行終了に伴い、市史編さん事業については終了となったが、『八戸藩遠山家日記』の刊行とともに、郷土の歴史の普及を図ることができた。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価				
				H25	H26	H27	H28	H29
目標4 文化財の保存と活用				A	A	A	A	A
①史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用	重点	33	是川縄文の里整備事業	○	○	○	○	○
	重点	34	北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	○	○	○	○	○
		35	史跡等環境整備事業	○	○	◎	○	○
		36	史跡根城の広場の活用事業	○	○	○	○	○
		37	名勝種差海岸の保護管理事業	○	○	○	○	○
		38	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」保護事業	○	○	○	○	○
		39	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存・広報事業	○	○	○	○	○
②埋蔵文化財の記録保存		40	八戸市内遺跡発掘調査事業	○	◎	◎	◎	○

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価				
				H25	H26	H27	H28	H29
③民俗文化財の保存・継承	重点	41	無形民俗文化財後継者養成事業	○	○	○	○	◎
		42	「民俗芸能のタベ」開催事業	○	○	○	○	○
		43	郷土芸能ビデオライブラリー事業	○	○	○	○	○
	重点	44	八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進（※27）	△	△	○	◎	◎
④有形文化財の保存・管理		45	指定文化財管理事業	○	○	○	○	○
⑤歴史記録の保存・活用		46	先人周知事業	○	○	○	○	○
		47	史跡等標示事業	○	○	○	○	○
	重点	48	古文書の整理・解読の推進	○	○	○	○	○
	重点	49	八戸市史編さん事業	○	◎	◎	◎	◎
		50	研究紀要の発行	◎	◎	◎	◎	◎
		51	収蔵資料の活用	◎	◎	◎	◎	◎

※27…平成27年度新規事業

方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います

大災害は、突然に訪れます。東日本大震災で傷ついた子どもたちのケアを続けると同時に、災害に備えて防災の心構えを養います。また、子どもや市民が安心して使用できる教育施設の整備を進めます。

【まとめ】

東日本大震災の教訓を踏まえ、施設整備を始めとする防災機能の強化に努めた。また、「防災ノート」を作成し、避難訓練や授業を通じた防災教育を実施し、自らの命を守るための態度や能力、意識の醸成が図られた。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価				
				H25	H26	H27	H28	H29
目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実				A	A	A	A	A
①児童生徒の就学支援と教育相談の充実		52	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和	○	○	○	○	○
	重点	53	教育相談による心のケア	○	○	○	○	○
②教育施設の避難所機能の充実	重点	54	地区公民館の耐震化	○	○	○	○	○
		55	小・中学校における避難所機能の整備	○	○	○	○	—
③防災教育の推進	重点	56	小・中学校における防災教育の推進	○	◎	◎	◎	◎

方向性Ⅳ 地域・社会ぐるみの子育てを支援します

家庭における親と子の向き合い方の変化、学校における教員の多忙化と子どもとの向き合い方など、子どもを取り巻く環境は変化しています。学校・家庭・地域が一体となり、それぞれの力を活かした地域の子育てを支援します。

【まとめ】

学校・家庭・地域の協働による「開かれた学校づくり」が浸透し、事業の定着と様々な活動の充実が図られてきている。子どもたちの教育環境や支援体制を整えるため、また、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもが育まれるよう学校教育、社会教育ともに地域を拠点としたつながりを大切に、様々な人とのコミュニティを形成するための基盤づくりに努めた。

また、青少年の地域活動については、積極的に推進している学校が多く、ボランティア登録者数が増加している中、様々な団体から派遣の依頼があり、当事業の認知度が高まってきている。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.	取組名	評価				
			H25	H26	H27	H28	H29
目標6 参加と連携の推進			A	A	A	A	A
①学校・家庭・地域の連携の推進	重点	57 地域密着型教育推進事業(再掲)	○	○	◎	◎	◎
		58 さわやか八戸グッジョブウィーク事業(再掲)	○	○	○	○	○
②教育資源の多様な活用		59 教育支援ボランティア推進事業	◎	◎	○	○	○
目標7 社会教育・家庭教育の充実			B	A	A	A	A
①社会教育施設等の整備・充実		60 公民館の施設整備	△	○	—	—	—
	重点	61 地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	○	○	○	○	○
		62 図書館施設の整備	○	○	○	○	○
②家庭・地域の教育力の充実	重点	63 家庭の教育力充実事業	○	○	○	○	○
目標8 青少年の健全育成			S	A	A	S	S
①青少年の健全育成活動の推進		64 少年相談センター活動	○	○	○	○	○
②青少年の交流の推進		65 南部藩ゆかりの都市との交流事業	◎	◎	◎	◎	◎
		66 青少年派遣交流事業(再掲)	◎	◎	◎	◎	◎
③青少年の地域活動の推進		67 青少年の地域活動の推進事業	◎	○	○	◎	◎

方向性 V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します

少子高齢化の進行により、社会の活力低下が心配されています。増加する高齢者をはじめとした、あらゆる世代が生きがいを見つけ、かがやくことができるよう、さまざまな講座の開催や、社会教育施設を活かした多様な学習機会を提供します。

【まとめ】

地域・関係機関との連携を図り、社会の要請に応えた学習機会を提供するとともに、社会教育施設を活かした各種イベント等を開催し、地域社会の活力が維持・向上するよう努めた。また、受講者アンケート等を活用し、参加しやすい環境づくりを検討した。

各目標ごとの施策の分類	取組 No.		取組名	評価				
				H25	H26	H27	H28	H29
目標9 生涯学習の充実				A	A	A	A	A
①多様な学習機会の提供	重点	68	八戸市民大学講座	○	○	○	◎	○
		69	放送大学支援事業	○	○	○	○	○
		70	公民館講座の開催	○	○	○	○	○
		71	ICT 講習会の開催	○	○	○	○	○
②特色ある社会教育施設活動の充実	重点	72	学校出前講座の開催	◎	◎	◎	◎	◎
		73	児童科学館各種体験活動	◎	◎	◎	◎	◎
		74	「青少年のための科学の祭典」	○	○	○	○	○
	重点	75	図書館の利用促進	○	○	○	○	○
		76	「調べる学習コンクール」の開催	○	◎	◎	◎	◎
		77	「市史講座」の開催	◎	○	◎	◎	◎
	重点	78	是川縄文館各種展覧会・体験講座等開催事業	○	◎	◎	◎	◎
	重点	79	博物館・南郷歴史民俗資料館各種展覧会・体験講座等開催事業	◎	◎	◎	◎	◎
	80	博物館資料の収集・公開	○	○	○	○	○	

3 事業担当課による点検及び評価

【 重 点 取 組 】

目標ごとの点検及び評価一覧

取組の内容・実施状況・評価結果

【重点取組】 目標ごとの点検及び評価

方向性Ⅰ 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標1 就学前教育の充実			
①就学前教育内容の充実	1	幼保小連携推進事業	◎
②就学前教育環境の整備・充実	3	ブックスタート事業 (※26)	◎
目標2 義務教育の充実			
①教育内容・指導の充実	5	地域密着型教育推進事業	◎
	8	小・中学校ジョイントスクール推進事業	◎
	13	教育相談・適応指導教室	◎
②特別支援教育の充実	14	特別支援教育アシスト事業	○
	15	特別支援教育体制整備事業	◎
③健康に関する指導の充実	18	学校保健活動の実施	◎
④教育環境の整備・充実	20	学校施設の整備	◎
	22	小・中学校適正配置事業	○
	23	マイブック推進事業 (※26)	◎
	24	西白山台小学校建設事業 (※26)	○
⑤国際理解教育の推進	26	国際理解教育・英語教育推進事業	○
⑥情報教育の推進	27	教育の情報化推進事業	◎
目標3 高等学校教育・高等教育の充実			
①高等学校教育・高等教育の充実	30	八戸市奨学金制度	◎
	32	公開講座開催促進事業 (※27)	◎

※26…平成 26 年度新規事業

※27…平成 27 年度新規事業

方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標4 文化財の保存と活用			
①史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用	33	是川縄文の里整備事業	○
	34	北海道・北東北を中心とした 縄文遺跡群の世界遺産登録の推進	○
③民俗文化財の保存・継承	41	無形民俗文化財後継者養成事業	◎
	44	八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進(※27)	◎
⑤歴史記録の保存・活用	48	古文書の整理・解説の推進	○
	49	八戸市史編さん事業	◎

※27…平成 27 年度新規事業

方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実			
①児童生徒の就学支援と教育相談の充実	53	教育相談による心のケア	○
②教育施設の避難所機能の充実	54	地区公民館の耐震化	○
③防災教育の推進	56	小・中学校における防災教育の推進	◎

方向性Ⅳ 地域・社会ぐるみの子育てを支援します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標6 参加と連携の推進			
①学校・家庭・地域の連携の推進	57	地域密着型教育推進事業(再掲)	◎
目標7 社会教育・家庭教育の充実			
①社会教育施設等の整備・充実	61	地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	○
②家庭・地域の教育力の充実	63	家庭の教育力充実事業	○

方向性Ⅴ あらゆる世代に多様な学習機会を提供します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標9 生涯学習の充実			
①多様な学習機会の提供	68	八戸市民大学講座	○
②特色ある社会教育施設活動の充実	72	学校出前講座の開催	◎
	75	図書館の利用促進	○
	78	是川縄文館各種展覧会・体験講座等開催事業	◎
	79	博物館・南郷歴史民俗資料館 各種展覧会・体験講座等開催事業	◎

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 1 就学前教育の充実
施策の分類	① 就学前教育内容の充実

所管課：教育指導課

取組	No.1	【重点取組】 幼保小連携推進事業
取組内容	市内全域の幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小学校(※1)の教職員が、子どもの発達や互いの教育内容についての連携を深め、互いに理解し尊重し合って、幼児児童の学びの連続性を図ります。 ※1 以下、「幼・保・こ・小」という。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 代表者会議 2回 研修講座 1回 (出席者 132人) 地区会 小学校区ごとに実施 	<ul style="list-style-type: none"> 代表者会議や研修講座等を開催し、「幼・保・こ・小」の管理職や指導者による情報交換を実施した。 就学児保護者用パンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」を「幼・保・こ・小」を通して全ての保護者へ配付した。 「幼保小連携推進事業報告書集」を作成し、全ての「幼・保・こ・小」に配付した。 「幼保小連携研修講座」の全体会では外部講師を招聘して講演会を実施した。 講師：宮城学院女子大学 教育学部 児童教育学科特任教授 渡辺 徹 氏 演題：気になる子どもの支援と幼保・小の連携 ～発達障害理解のための疑似体験を通して～ 幼児と保護者が小学校の行事等を参観する「オープンスクール」を試行した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の「指導者の交流」「子どもの交流活動」が活発になり、学校関係者による園児の活動の参観や園児による学校施設や授業の見学等が増えている。 保護者用パンフレットの配付及び、小学校におけるスタートカリキュラム(1年生入学当初にスムーズに学校生活に適応するための教科の進め方の工夫)の作成・活用の増加により、小学校入学時にスムーズに移行できるようになってきている。 研修講座での講演会や分科会により、子どもの発達の状況やそれぞれの保育・教育内容についての理解が深まっている。 報告集を配付し研修講座で活用したことにより、連携に関わる取組を共有することができた。 研修講座のアンケートには、良好な意見が多く見受けられ、幼児児童の学びの連続性についての理解の促進につながっている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、新学習指導要領への対応を見据えて、新しい学力観に基づく幼保小連携について研修を深めるなど、さらに「幼・保・こ・小」相互の連携を図っていく必要がある。 就学先学区外の「幼・保・こ」の幼児も、就学先小学校での行事等に参加できるような取組について推進する必要がある。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 1 就学前教育の充実
施策の分類	② 就学前教育環境の整備・充実

所管課：図書館

取組	No.3	【重点取組】ブックスタート事業
取組内容	<p>赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりと心触れ合うひとときをもつ“きっかけ”をつくることを目的とし、総合健診センターで行われる先天性股関節脱臼検診時に、対象の親子に読み聞かせのボランティアが絵本の読み聞かせをし、ブックスタートパックを手渡します。</p> <p>また、「本のまち八戸」の推進のため、幅広い世代の人たちが本に親しむことができるよう、関係機関と連携し施策を展開します。</p>	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 年間回数 48回 対象親子数 1,688組 (内訳) 出生 1,602人 転入 86人 配付数 1,523組 	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタートの意義を説明し、親子を対象に絵本の読み聞かせを行い、絵本1冊、イラストアドバイス集1冊、図書館利用案内、絵本のリスト等を手提げバッグに入れて手渡した。 対象は、八戸市民で生後90日～1歳未満までの乳児とその保護者。 配付数には、健康づくり推進課窓口配付分を含む。

評価				
	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 全体での配付率は90.2%となり、前年度から4.5%低下したものの、健診センターでの配付率は100%である。 ブックスタートをきっかけに、絵本に親しむ親子が増え、0～6歳までの図書館貸出利用者が年々増加している。(内訳:26年度 5,607人、27年度 5,928人、28年度 6,500人、29年度 6,668人) 			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 未受診者及び健診センター以外の医療機関における受診者に対し、ブックスタートパック受取方法の周知を徹底し、配付率向上に努める。 引き続き、配付する絵本の見直しやブックスタートパックの配付場所の検討などを行い、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりと触れ合うひとときをもてるよう努める。 ブックスタートが、親子で絵本を楽しむきっかけとなることで、図書館の利用につなげていくとともに、関係部署と連携しながら、キッズブッククーポンやマイブッククーポンの活用促進を図り、本と触れ合う機会を提供することで、「本のまち八戸」構想の推進に努める。 			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.5	【重点取組】地域密着型教育推進事業
取組内容	<p>児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、全小・中学校で地域密着型教育を推進し、運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとします。具体的には、保護者及び地域住民が学校運営に参画できる「地域学校連携協議会」を設置し、地域住民等と学校の協働による「開かれた学校づくり」を推進します。また、コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアを活用できるよう、「地域学校連携協議会」の各組織の活性化に向けて支援します。</p>	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同説明会 (1回 118名参加) ・ 地域密着型教育研修会 (1回 88名参加) ・ コーディネーター研修会 (1回 42名参加) ・ 実践発表 (2回 3校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長または教頭とコーディネーターの合同の説明会を開催した。 ・ 「地域学校連携協議会」に各校担当主任指導主事等が出席し支援と助言を行った。 ・ 各校において、コーディネーターを中心に、学校支援ボランティアと学校司書とが連携し、図書ボランティア講習会等を開催した。 ・ 実践発表会で長者小学校と小中野中学校、教育の広場で江南小学校のコーディネーターが実践発表を行った。 ・ 地域学校連携協議会委員や地域住民等を対象に発表会等の周知活動を開催することができた。 ・ 地域密着型教育研修会・コーディネーター研修会では、外部講師を招聘して講演会と演習を行った。 講師：特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表 竹原和泉 氏

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同説明会やコーディネーター研修会、報告集の作成・配付等を通して、事務手続きや具体的な取組についての情報を共有できた。 ・ コーディネーターの複数配置を進めたことにより、学校支援ボランティアと学校司書との連携が図られ、学校支援ボランティア活動が充実してきた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1校を除く全小・中学校にコーディネーターが配置されているが、地域住民・保護者・学校が連携・協働するしくみの定着と活動のさらなる充実のために、コーディネーターの増員（各校に複数配置）が必要である。 ・ 学校支援ボランティアの確保のために、ボランティアの共有や地域住民への情報発信が必要である。 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

I-2-①-取組8 【重点取組】小・中学校ジョイントスクール推進事業

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.8	【重点取組】小・中学校ジョイントスクール推進事業
取組内容	全中学校区の小・中学校が連携して「中1ギャップ」等を解消し、児童生徒の学びと成長・発達の連続性を保証し、「生きる力」の基盤となる学力である夢に向かって学ぶ意欲を高める確かな学力を保証することを目指します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 実践発表会 (1回2校 100名参加) 中学校区ごとの 研修会、情報交換会 (各地区 2～4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校に、ジョイントスクール推進事業の構造図を配付した。 実践計画書を作成し、実践報告書を地域密着型教育推進事業実践報告集と併せて作成した。 中学校区ごとに研修会、授業参観、児童生徒の情報交換、合同講演会、生徒指導や学習等の部会ごとの話し合いを実施した。 ジョイントスクール実践研究発表会で指導力向上や学習習慣、交流活動等に関わる連携した取組の発表をした。 学校訪問の際に、学力状況調査等の課題を共有し、学習面・学力面の連携について助言した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観や情報交換、講演会等により、小・中学校相互の児童生徒理解が進んでいる。 学力状況についての情報交換等も増えており、9年間を通した学力向上の取組につながっている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域密着型教育推進事業との連携を図る。 質の高い授業づくりのために、学校間での互いの教育内容及び課題等について理解を深めるとともに、課題解決につながる授業交流や合同研修等の充実に図っていくことが望まれる。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.13	【重点取組】教育相談・適応指導教室
取組内容	不登校児童生徒への適応指導や学校復帰支援、不登校の未然防止等の支援をします。また、市民や教職員に対して、幼児児童生徒の教育に関する相談に対応します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談部延べ回数 2,409回 適応指導教室通室生 45名 適応指導教室 「キッズ」延べ69名 「ジュニア」延べ36名 ペアレントトレーニング 延べ45名 	<ul style="list-style-type: none"> 電話相談、来所相談、訪問・巡回相談を実施した。 相談内容の多様化・複雑化に伴い、相談員2名体制で対応した。 こども支援センター適応指導教室として、適応指導部と教育相談部で連携しながら、不登校状態の児童生徒への支援を行った。 集団活動の充実、個別の学習支援の充実を図った。 不登校未然防止に対応して適応支援活動「キッズ・ジュニア」を実施した。 保護者支援としてペアレントトレーニングを実施した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> こども支援センターの周知が図られ、相談延べ回数は昨年度より150回増加、約1.1倍となった。 教育相談員を1名増員し、より多くの相談に対応することができた。 適応指導教室通室の中学校3年生は、全員が高校へ進学しており、日頃の適応指導や受検指導、面接練習の成果が見られた。 中学校3年生以外の児童生徒も部分復帰し、学校とつながるケースが多く、復帰に向けた取組の成果が出てきている。 適応支援活動「キッズ・ジュニア」等の活動経過を学校に報告し、情報を共有することにより、学校での集団活動参加が円滑に進んだ。 月1回の事例検討会や研修会等への参加で、相談員・指導員それぞれのスキル向上を図ることができた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数の増加、内容の多様化・複雑化、重度のケース増加、適応指導における個別対応ケースの増加などに対応するため、教育相談員及び適応指導教室指導員の資質の向上、体制の充実及び備品・教具等のさらなる充実に努める。 				<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	② 特別支援教育の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.14	【重点取組】特別支援教育アシスト事業
取組内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に特別支援アシスタントを配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援を行います。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援アシスタント 配置人数 80人 配置校小学校 36校 中学校 22校 研修会 3回実施 参加者 8月 70人 1月 80人 3月 71人 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の現状に合わせ、特別支援アシスタントの複数配置校を21校とし、児童生徒の個々の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。 多動傾向や介助を必要とするなど特別な配慮を要する児童生徒に対し、継続して個別に支援を行った。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 校内支援体制を工夫し、効果的にアシスタントを活用する学校が増加した。 継続的な個別対応により、集団生活に適応することができ、学級全体の学習保障にもつながった。 アシスタントを複数配置することにより、安全確保ができ児童生徒の活動の幅が広がったことで、学習に対して成就感をもつことができるようになった。また、個別に声をかけてもらう機会が増え、学習への自信や意欲につながるケースもあった。 研修内容の工夫や学校訪問時に助言指導を直接行うことで、アシスタントの資質の向上に努めることができた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 個別対応など、1日4時間程度の勤務では対応しきれないケースの増加に対応するために、今後もアシスタントの資質向上とともに、勤務時間の拡充に努めていく。 				<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	② 特別支援教育の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.15	【重点取組】特別支援教育体制整備事業
取組内容	特別支援教育専門指導員を配置し、幼児児童生徒の検査を行ったり、保護者の相談に応じたりするとともに、校内の体制づくりや保護者・関係機関との連携について指導・助言を行うなど、特別支援教育に係る支援体制を充実させます。 教育・保健・福祉の連携による、子ども・教員・保護者を総合的に支援する体制づくりに努めます。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門指導部延べ回数 1,564回 [内訳] ①来所・電話相談 幼・保 … 370回 小学校 … 351回 中学校 … 100回 その他 … 12回 ②巡回・訪問相談 幼・保 … 247回 小学校 … 223回 中学校 … 45回 ③就学調査 幼・保 … 68回 小学校 … 85回 中学校 … 11回 ④小集団活動(リトル) … 延べ52人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門指導部の延べ回数は 1,564 回と前年より 649 回増加した。 ・ 巡回相談等により、幼稚園・保育所(園)・認定こども園、小・中学校への特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への支援方法や特別支援教育の校内体制づくり等について指導・助言を行った。 ・ 健康づくり推進課の未就学児ことばの教室相談員と連携して、幼稚園等の巡回相談を行った。 ・ 幼稚園、保育所(園)、認定こども園での前年度の様子から入学後の適応状態が心配される児童についての巡回相談を実施した。 ・ スムーズな学校生活への適応に向けて、集団での適切な行動の仕方について学ぶ、小集団活動「リトル」を実施した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学級の視点を取り入れた授業づくりや学級づくりが各学校で進められ、障がいの理解や児童の実態把握に基づく的確な支援につながった。 ・ 幼稚園・保育園等からの巡回相談の要請や保護者等の相談が増加している。 ・ 巡回相談や訪問相談により、未就学児童の教育的ニーズを早期に発見するとともに、小学校と情報共有を図ったことで、継続した支援となり、小1プロブレムの解消に役立っている。 ・ 就学調査についても年間の総回数 312 回の 5 割以上を担当するなど、大きな役割を果たしている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巡回相談の継続支援や特別支援学級担任支援を行うことで、児童生徒のニーズに応じたよりの確かな支援を進めることにつなげていきたい。 ・ より一層関係機関と連携を図り、早期発見・早期支援に努める必要がある。 ・ 来所相談した小学校1～4学年の児童を対象に、年9回のビジョントレーニングを導入する。 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	③ 健康に関する指導の充実

所管課：学校教育課

取組	No.18	【重点取組】学校保健活動の実施
取組内容	各学校での児童生徒の健康に関する課題について、学校・家庭・地域など関係機関が連携して研究協議を行い、健康づくりを効果的に展開する学校保健活動の実施を推進します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	関係機関と連携した学校保健活動を行った学校数 65校/67校	<ul style="list-style-type: none"> 学校訪問において、学校保健活動の実施状況を確認するとともに関係機関と連携した取組が行われるよう指導助言した。 学校保健活動を実施している学校では、学校医や保護者、地域の方々も交えながら、食育や歯科保健に関する内容、ゲーム機やインターネット利用に関する内容等の話し合いが行われた。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 学校医・学校歯科医・学校薬剤師からの専門的な指導や、講師として学校保健活動に参加する学校が増加したことから、学校保健活動の充実が図られた。 児童生徒の健康管理やアレルギー対応等について、栄養教諭や学校医等との連携を図ることで、子どもたちの生活習慣の改善と学校生活の質の向上へとつながっている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各小・中学校に対する学校保健活動の実施の働きかけを推進する。 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の参加率を上げていくよう、引き続き、学校及び医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を図りながら進めていく。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育総務課

取組	No.20	【重点取組】学校施設の整備
取組内容	小・中学校の校舎や校庭などの教育施設で児童生徒が安全安心に過ごせるよう、危険な部分の改修や老朽化した部分を修理するなどの整備を行います。また、児童生徒数の変化に伴う設備規模の見直しや、省エネ機器の導入によるエネルギーの効率化を進め、維持管理費の軽減を図ります。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 大規模営繕工事等 12校 小規模営繕工事、修繕 246件 	<p>学校施設の安全対策及び教育環境改善など、緊急性・重要性を勘案しながら実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模営繕工事… 9校 小学校 4校、 中学校 5校 大規模改造事業(トイレ改修工事他)… 3校 小学校 2校、 中学校 1校 小規模営繕工事… 69件 小学校 37件、 中学校 32件 修繕… 177件 小学校 84件、 中学校 93件

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 毎年行っている「学校施設整備箇所調査」と学校からの要望及び点検作業結果を取りまとめ、緊急性・重要性を勘案しながら優先度の高いものから順次対応した。 学校施設の環境を整備し、児童生徒が安心安全な学校生活を過ごすことができるようになった。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、定期的な調査等を実施し早期発見・対応により学校施設の長寿命化を図るとともに、維持管理面の見直しを行い、効果的に省エネ化を実施していきたい。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：学校教育課

取組	No.22	【重点取組】小・中学校適正配置事業
取組内容	児童生徒の教育環境の充実を最大の目的として、通学区域や学区外通学許可基準の見直し、学校の統合や新設など、一律の基準で判断せず、それぞれの学校にとって最善の手法を検討・実施します。	

実施状況	実績値等		実施内容
	住民説明会	5回	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年7月21日に策定した八戸市立小・中学校の適正配置に関する「基本方針」及び「検討課題」を踏まえて、検討着手スケジュールで「中期」に分類した検討課題の対象地域・学校に出向き、保護者、地域、学校の代表者と、それぞれの地域の実情を尊重しながら、話し合いを進めた。 地域からの要望により、青潮小学校の通学区域のうち、5町内（柳町、ホロキ長根、高台町、第一永楽町、赤坂）を指定校変更許可地域に決定した。（許可する学校・・・湊小学校）
代表者話し合い	4回		
検討委員会	10回		
代表者打合せ等	16回		

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		◎	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 中期検討課題について、保護者や地域の代表者と話し合いの場を持つことができた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 検討着手スケジュールで「中期」に分類した検討課題の対象地域・学校に出向き、保護者、地域、学校の代表者と、それぞれの地域の実情を尊重し、十分な情報提供と丁寧な説明を行いながら話し合いを進めていきたい。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育指導課

取組	No.23	【重点取組】マイブック推進事業
取組内容	市内全小学校と特別支援学校小学部の児童にマイブッククーポンを配り、小学生が保護者とともに書店に出かけ自ら本を選び購入する体験を通して、読書に親しむ環境づくりを推進します。また、本のまち八戸の推進のため、幅広い世代の人たちが本に親しむことができるよう、関係機関と連携し施策を展開します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 使用されたクーポンの割合 95.8% クーポンを使用した児童の割合 97.4% 	<ul style="list-style-type: none"> 一人につき 2,000 円分 (500 円×4 枚) を配付した。 マイブッククーポンの使い方が分かるようにブックガイドを配付した。 マイブッククーポンで購入した本を学校での読書活動等に活用した。 事業の実施状況について、児童及び保護者、各学校、参加書店に対してアンケート調査を行い、結果を公表した。

評価	年度			
	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 配付されたクーポンのうち使用されたクーポンの枚数の割合は増加し、クーポンを 4 枚中 1 枚でも使用した児童の人数の割合は、前年度から 1.3% 増であり、クーポンの使用が定着している。 活用後の感想には、本に親しみ興味をもつきっかけとなったことや、購入した本だけでなく図書室の本も大切にする態度が見られたことなどが多く書かれており、本に親しむ環境づくりにつながっている。 各校でも、クーポンを利用して購入した本の紹介や展示等の活動が増え、学校での読書活動の推進につながっている。 			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 八戸ブックセンターと連携して、「おすすめブックリスト」を作成するほか、小学校での読み聞かせを行い、さらなる事業の充実を図る。 より多くの児童がブッククーポンを使用できるように、継続して保護者への周知を図るとともに、参加書店と連携して使用しやすい環境づくりにつなげる。 クーポンで購入した本を活用した各校での取組について共有し、子どもたちの読書環境づくりや読書意欲の向上に努める。 乳幼児期から小学校就学後における「本」による心の成長の連続性を図るため、関係部署との連携に努める。 			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

I-2-④ 取組 24 【重点取組】西白山台小学校建設事業

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育総務課

取組	No.24	【重点取組】西白山台小学校建設事業
取組内容	ニュータウンの開発に伴い、白山台小学校の児童数が年々増加しており、二度の校舎増築によっても教室不足を解消できない状況にあること、白山台地区における児童数は今後も増加する見込みであることから、児童の教育環境の充実を図るため、西白山台小学校を建設します。	

実施状況	数値指標	実施内容
	・事業進捗率 (校庭・外溝整備工事) 平成 29 年度 100%	・平成 27 年 10 月一般競争入札により受注者を決定し着工した。 平成 27 年 10 月 受注者決定 平成 29 年 3 月 校舎・屋内運動場完成 開校準備 平成 29 年 4 月 開校 (6 日開校式、7 日入学式) 平成 29 年 6 月 校庭・外溝整備工事完了

評価	年度			
	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
	○	○	○	○
評価理由	・平成 29 年 6 月までに校庭及び外構整備工事を実施し、当事業が全て完了した。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止			

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑤ 国際理解教育の推進

所管課：教育指導課

取組	No.26	【重点取組】国際理解教育・英語教育推進事業
取組内容	ALT(外国語指導助手)を小・中学校へ派遣し、小学校の外国語活動の授業や中学校の英語科の授業への補助、日本人教員に対する現職研修への補助、特別活動及び課外活動への協力を通して、小・中学生等への国際理解教育・英語教育を推進します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ALTの配置（18名） 	<ul style="list-style-type: none"> 18名のALTが18校の中学校をベーススクールとして、市内全小・中学校で外国語活動や外国語科等の授業の補助をした。 外国語教材作成、外国語スピーチコンテストへの協力をした。 学校行事や部活動等への参加・協力を行った。 外国語科担当教員等に対する研修の補助や語学に関する情報提供を行った。 公民館や児童館などの国際交流活動への協力をした。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ALTの活用に向けてALT月例会で授業に関わる研修会を行うなど、ALTの資質向上に取り組み、小学校外国語活動・中学校における外国語科の授業でのALT活用を通じた国際理解教育・英語教育が積極的に推進されている。 各校からの国際理解教育・英語教育に関わる評価では、取組が十分だと評価した学校が96%であった。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ALTの資質・指導力の向上を目指す取組を継続するとともに、教員とALTの授業力向上に資する取組の工夫に努める。 2020年からの小学校新学習指導要領全面実施による授業時数増に対応するため、ALTの増員を検討する。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑥ 情報教育の推進

所管課：総合教育センター

取組	No.27	【重点取組】教育の情報化推進事業
取組内容	総合教育センターを核とした「八戸市教育情報ネットワークシステム」(HENS)及び校務支援システムの活用とともに、タブレット PC や電子黒板等新しい機器の活用を視野に入れた ICT 環境の整備・改善を通して、教育の情報化を推進します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校学習用タブレット追加導入 20校 200台 ・ 中学校電子黒板導入 22台 ・ 実物投影機 108台 ・ プロジェクタ 39台 ・ HENS端末更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問等を通して、授業で実物投影機・プロジェクタを積極的・効果的に活用するよう支援を行った。 ・ HENS端末・実物投影機・プロジェクタ・電子黒板・中学校学習用タブレット導入を行った。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務支援システム導入後、研修等を通してシステムの周知と、各校での活用を図ることができた。 ・ 中学校学習用タブレットの追加導入により全中学校への設置、また電子黒板についても全中学校への設置を行い、活用状況の確認や授業での活用における支援を行った。このことにより、ICTを活用した授業づくりの推進が図られた。 ・ 各小・中学校の授業において、よく分かる授業づくりに向け、実物投影機・プロジェクタ・タブレット等のICT機器が日常的に活用されてきている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット・コンピュータ機器等の更新及び校内LAN環境の改善やネットワークの強靱化等を計画的に進めるなど、ICT環境を整備・充実させていく必要がある。 ・ 新学習指導要領の実施へ向けて、学校現場のニーズを的確に把握し、教育の質の向上を図るための授業におけるICT（校務支援システム含む）の効果的な活用を推進する。 ・ HENS更新へ向けてネットワーク強靱化を見据えた構築の準備、計画を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実
施策の分類	① 高等学校教育・高等教育の充実

所管課：学校教育課

取組	No.30	【重点取組】八戸市奨学金制度
取組内容	八戸市出身の優秀な高校生・専門学校生・大学生で、経済的理由により修学困難な者に対して奨学金を貸与・給付し、人材の育成を図るため、修学の援助を行います。また、安定した奨学金制度を継続していくため、貸与した奨学金の回収にも努めます。	

	実績値等	実施内容
実施状況	貸与実績 66,560,000円 (高校、高専、短大、大学生等 延べ人数167人) 給付実績 8,400,000円 (高校、高専、大学生等 延べ人数28人) 奨学金償還金回収率 (現年分) ・ 目標値(調定額) 62,700,108円 ・ 実績(収入済額) 58,799,211円 ・ 達成状況 93.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学機会の充実に資するため、市出身の優秀な学生で、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与した。 ・ 平成27年度から償還義務のない給付型奨学金制度(予約採用のみ)を導入し、平成28年度に進学等の状況を確認し、奨学金の給付を実施した。 ・ 未収金対策として、文書督促、電話督促等で回収率の向上に努めた。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学機会を求める学生・生徒等の経済的支援が図られる成果があった。 ・ 未収金対策として、文書督促、電話督促等を行った結果、達成状況が昨年度と同程度の93.7%となった。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学機会を求める学生・生徒等の経済的支援をさらに拡充するため、引き続き、市ホームページで「奨学金制度拡充のため(奨学ゆめ基金への積立)」への寄附をお願いし、財源となる奨学ゆめ基金の安定・充実を図る。 ・ 未収金対策の強化を図る必要がある。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実
施策の分類	① 高等学校教育・高等教育の充実

所管課：社会教育課

取組	No.32	【重点取組】 公開講座開催促進事業
取組内容	地元高等教育機関（八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校）等と連携し、公開講座の開催に必要な協力・支援を行うことにより、広く市民に学びの場を提供します。また、中心市街地で実施することで、にぎわいの創出にも寄与します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	開催回数 8回 参加者数 937人 ※参考：平成28年度 開催回数 5回 参加者数 113人	① 「まちづくり講演」八戸市新美術館の建築を考えるトークセッション 日時：平成29年6月11日（日）13：00～16：00 会場：八戸市美術館 主催：八戸工業高等専門学校／共催：教育委員会 参加者数：63人 ② 八戸港寄港記念 地球深部探査船「ちきゅう」展 一般公開が88倍楽しくなる「ちきゅう」の話 主催：教育委員会／後援：八戸工業大学 協力：国立研究開発法人海洋研究開発機構 【講演会】 日時：平成29年7月28日（金）11：00～、15：00～ 会場：はっち1階 はっちひろば 参加者数：150名（講演会のみ） 【パネル展示】 期間：平成29年7月24日（月）～28日（金） 会場：はっち1階 ギャラリー1 ③ 君の発電所を作ろう ブロック玩具を組み立てて、グリーンエネルギーを学ぶ 日時：平成29年10月1日（日）13：00～、15：00～ 会場：チーノ1階 八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ 主催：八戸工業大学／共催：教育委員会 参加者数：9組20名 ④ まちとつながる美術館 新美術館のあり方オープンミーティング 日時：平成29年10月13日（金）18：00～20：00 会場：はっち1階 はっちひろば 主催：八戸工業大学／共催：教育委員会 参加者数：50人 ⑤ 住みたい家・住みたい街コンクール2017 主催：八戸工業大学／共催：教育委員会 【優秀作品発表会・最優秀作品選考会・表彰式】 日時：平成29年11月3日（金・祝）9：30～11：50

		<p>会場：はっち 2階 シアター2 応募対象：小学校 5・6年生 応募総数：327点 参加者数：40人 【作品（約100点）展示】 期間：平成29年11月3日（金・祝）～9日（木） 会場：はっち 2階 ギャラリー2 【優秀作品（16点）展示】 期間：平成29年11月14日（火）～21日（火） 会場：八戸市公会堂 1階</p> <p>⑥ 青森土木フォーラム 主催：青森土木フォーラム実行委員会、八戸工業大学 共催：教育委員会 他多数</p> <p>【講演会、パネルディスカッション】 日時：平成29年11月11日（土）13：30～16：30 会場：八戸市公民館 参加者数：170人 【現場見学会（親子バスツアー）】 日時：平成29年11月12日（日）9：30～15：00 会場：八戸市内 参加者数：30名 【ポスター展】 期間：平成29年11月11日（土）～13日（月） 会場：はっち 1階 ギャラリー1 来場者数：400名</p> <p>⑦ やっぱし、ふるさとことばだじゃ！～本と方言と時々アンケート～ 日時：平成29年11月26日（日）13：30～15：00 会場：八戸ブックセンター 読書会ルーム 主催：八戸工業大学／共催：教育委員会 参加者数：8名</p> <p>⑧ 液晶パネルを作ろう 日時：平成29年11月26日（日）13：00～16：00 会場：チーノ 1階 八戸工業大学地域産業総合研究所 産学連携プラザ 主催：八戸工業大学／共催：教育委員会 参加者数：6名</p>
--	--	---

自己評価		27年度	28年度	29年度
評価理由	<p>・前年度と比較し、回数・分野ともに充実した内容となり、参加者数も大幅に増えたことや、ブックセンターやチーノで開催したことが評価できる。</p>			
今後の方向性	<p>・各高等教育機関等と連携し、新規の講座の企画や、各機関が単独で計画している講座を協力・支援することにより、中心市街地での開催回数の維持に努める。</p> <p>・受講対象者に応じた開催日時・曜日の設定について今後とも配慮していく。</p>	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止		

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：是川縄文館

取組	No.33	【重点取組】是川縄文の里整備事業
取組内容	是川遺跡の発掘成果をもとに、「縄文の里」を生涯学習及び観光・まちづくりの拠点として整備するとともに、是川遺跡や縄文文化に関する情報を発信します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 取得面積 14,198㎡ 整備検討委員会 2回 懇談会 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 整備のための用地取得を実施した。 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会を6月22日・11月15日に開催し、第1期整備基本計画を策定した。 近隣町内組織・支援団体との懇談会を2月22日に開催し、意見交換を行った。 縄文是川ボランティアとの懇談会を3月28日に開催し、意見交換を行い、連携強化を図った。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得を継続するとともに、史跡の保存と整備に向けた第1期整備基本計画を策定し、本格的な整備を開始した。 関連団体等との連携を図ったことにより整備事業が円滑に進められた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 整備に向けた用地取得を継続する。 整備検討委員会を継続し、第1期整備に係る設計、工事へと事業を進める。 関連団体との連携強化し、情報発信を継続する。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ－４－①－取組 34 【重点取組】北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：是川縄文館・社会教育課

取組	No.34	【重点取組】北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録の推進
取組内容	是川石器時代遺跡を含む、北海道・青森・岩手・秋田の4道県に所在する縄文時代の代表的な17の遺跡により、世界遺産の登録を目指します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議出席 10回 ・ パネル展 4回 ・ 講座 4回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化審議会において推薦の先送りが決定されたため、共同推進体制の一員として、課題解決へ向けた会議へ出席した。同体制において、推薦書素案の改訂及び準備状況報告書を作成し文化庁に提出した。 ・ 周知活動として是川縄文館分館、八食センター等で縄文遺跡群パネル展を開催した。 ・ 小中野小学校にて縄文体感世界遺産講座を開催した。 ・ 「北海道・北東北の縄文遺跡群と世界文化遺産」をテーマとした講座を是川縄文館にて開催した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議等での協議・検討により、準備状況報告書及び推薦書素案改訂版を提出し、推薦・登録へ向けた課題解決が図られた。 ・ 市民向けの各種周知活動により、世界遺産登録への機運醸成が図られた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同推進体制では、「直近」の機会に推薦を目指すこととしている。ユネスコへの推薦は準備が整った資産から行うとされているため、引き続き、示された課題に対して取り組み、推薦を目指す。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	③ 民俗文化財の保存・継承

所管課：社会教育課

取組	No.41	【重点取組】無形民俗文化財後継者養成事業
取組内容	八戸三社大祭や神楽、えんぶり等の無形民俗文化財は、少子化や子どもたちのお祭り離れ等による後継者不足により、文化・技術の継承が厳しい状況にあることから、後継者養成のための補助及び支援を行います。	

実施状況	実績値等	実施内容
	① 交付実績 ・団体数 10件 ・交付金額 515,000円 ② 交付実績 ・団体数 1件 ・交付金額 100,000円 ③ 開催実績 ・観客数 250名	①無形民俗文化財後継者養成補助金 ・無形民俗文化財保存団体に対し、用具修理や後継者養成等に要する経費を対象として補助金を交付。 ・交付団体：八戸騎馬打毬会、高館駒踊保存会、鮫神楽保存会、靄神社法霊神楽保存会、白銀四頭権現神楽保存会、八戸藩伝神道無念流居合保存会、中野神楽保存会、大平大神楽、島守小学校神楽クラブ、島守虎舞 ②八戸三社大祭山車祭り行事保存会補助金 ・交付団体：八戸三社大祭山車祭り行事保存会 ③神楽上演会「山伏神楽U-30～若者がぎりぎりっど舞いて候う～」開催 ・若手伝承者の成果発表・交流の機会の提供 開催日：平成29年5月21日（日） 会場：はっちシアター2 出演団体：靄神社法霊神楽保存会、白銀四頭権現神楽保存会、鮫神楽連中

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	◎
評価理由	・補助金交付により、後継者養成の一助となるとともに、用具の修理が進むなど、保存・伝承に一定の効果があった。 ・若手伝承者の継承に対する意欲の向上や、市民の理解と関心を喚起できた。				
今後の方向性	・「山伏神楽U-30」は後継者養成につながる事が期待できるものであり、他の民俗芸能においても、若手の成果発表や交流の機会の提供を検討する。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ-4-③-取組 44 【重点取組】八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	③ 民俗文化財の保存・継承

所管課：社会教育課

取組	No.44	【重点取組】八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録の推進
取組内容	平成28年に八戸三社大祭を含む「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたため、平成29年度から登録のPRを行います。	

実施状況	実績値等	実施内容
	副読本印刷冊数 2,272 部 配付校：小学校 43 校	<ul style="list-style-type: none"> 小学生向け副読本の作成・配付 パネル写真展「八戸三社大祭と山・鉾・屋台行事」 会場：はっち、さくら野、街かどミュージアム 期間：7月25日～8月6日 講演 1回 全国山・鉾・屋台保存連合会八戸大会内定(平成31年開催) 東北山・鉾・屋台協議会参画

自己評価				
	27年度	28年度	29年度	
	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の減少により、現在多くの山車組で、八戸市内全域へ参加を呼びかけている状態であることから、八戸三社大祭を授業で取りいれてもらい、興味関心を醸成させることを目的として副読本を作成した。 関係団体との連携を深めることにより、全国山・鉾・屋台保存連合会の八戸大会が内定した。また東北山・鉾・屋台協議会の設立準備の段階から参画し、相互理解を深めた。 			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 副読本の利用状況や子どもたちの反応を踏まえて、平成30年度に内容や運用方法を修正する。 平成31年度に八戸で開催する全国山・鉾・屋台保存連合会総会の準備を進めるとともに、関係団体との連携を深め、八戸三社大祭のPRに努める。 			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標4 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：図書館

取組	No.48	【重点取組】古文書の整理・解読の推進
取組内容	八戸市の歴史の解明となる古文書を、良好な状態で整理・保存するとともに、市文化財に指定されている『八戸藩日記』の解読作業や『遠山家日記』の校正作業を推進し、市民が利用できるよう努めます。 ※『八戸藩日記』…1665(寛文5)年～1869(明治2)年の205年間にわたる八戸藩政の記録 ※『遠山家日記』…1792(寛政4)年～1919(大正8)年までの117年間にわたって八戸藩士の目を通して記された八戸藩政の動向や社会の動静の記録	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解読冊数 19 冊 ・ 中性紙保存箱への入替え作業 111点 ・ 古文書解読講習会 7回 参加人数 延べ130人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『八戸藩日記』の解読作業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内訳 『八戸藩勘定所日記』 9冊 『八戸藩江戸御用人所日記』 10冊 ・ 解読延べ冊数 526冊(『八戸藩日記』全冊数607冊) ・ 定期点検を実施し、目録と現物の照合のほか、目録等の修正作業を行った。 ・ 資料を良好な状態に保つため中性紙保存箱への入替え作業を行った(『遠山家日記』)。 ・ 初心者を対象に、古文書解読講習会を開催した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度に県重宝に指定された『遠山家日記』を中性紙保存箱へ入れ替え、資料の良好な保存・管理に努めた。 ・ 『八戸藩日記』は相対的に難易度の高いものが残っており、解読のペースは落ちたものの、作業は継続して進められている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未解読の『八戸藩日記』の状況(量や難解度)について、解読者と調査・協議しながら年間解読計画を策定し、解読を推進する。 ・ 古文書解読講習会を継続し、解読者の育成につなげる。 ・ 原本を良好な状態で保存するため、中性紙保存箱・封筒への入替え並びに複写物の作成やデジタル化を推進していきたい。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標 4 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：図書館

取組	No.49	【重点取組】八戸市史編さん事業
取組内容	八戸市の歴史に関する資料を収集し、市史の編さん作業を進めます。刊行終了後は、その成果の普及に努めるとともに、収集資料等の保存・公開を行います。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 書籍刊行数 2巻 『八戸藩遠山家日記』第6巻 『新編 八戸市史通史編Ⅱ 近世』 収集文書目録刊行 1冊 市史講座の開催 8回 	<ul style="list-style-type: none"> 『八戸藩遠山家日記』第6巻（弘化4年～嘉永5年）を刊行した。 『新編 八戸市史通史編Ⅱ 近世』の初版が完売したため、初版を加筆修正の上、第二版を刊行した。 『八戸市立図書館収集文書目録 第1集』を刊行し、収集資料の公開に努めた。 市史講座を開催し、編さん事業の成果の普及と販売促進に努めた。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 『図書館収集文書目録』を1冊刊行し、収集資料の公開に努めた。 『八戸藩遠山家日記』第6巻と『新編 八戸市史通史編Ⅱ 近世』の刊行を行い、市民に対する郷土の歴史の普及に努めた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 『新編 八戸市史』の刊行終了に伴って市史編さん事業は終了したが、今後も、資料の保存に努めるとともに、市民の関心を高めるため、引き続き収集資料等の公開を進める。 引き続き、『八戸藩遠山家日記』の刊行を行う。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	① 児童生徒の就学支援と教育相談の充実

所管課：こども支援センター

取組	No.53	【重点取組】教育相談による心のケア
取組内容	震災によって子どもが受けた心の傷は、数年経ってから何らかの症状となって表れることもあります。災害によって不安定となった子どもの心のケアや予防活動を行います。また、今後の自然災害や緊急事態における子どもや保護者、教職員に対する心のケアの相談窓口としての対応に備えます。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 研修講師派遣 小学校 4校 中学校 3校 計7校 心のケア リーフレットを小・中学校へ配付 	<ul style="list-style-type: none"> 心のケア研修支援事業として、「拡大校内研修」の講師派遣を行った。 9月20日 明治小学校 9月21日 小中野中学校 11月1日 日計ヶ丘小学校 12月4日 明治小学校 1月12日 三条中学校 1月17日 函南小学校 1月18日 江陽中学校 小・中学校へ震災に関わる心のケア リーフレットを配付した。 教職員に対するメンタルヘルス(カウンセリング)を実施した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 大学教授・臨床心理士による演習を交えた講演を行い、児童生徒の心のケアについて、見取りや接し方について学ぶことができた。 リーフレット配付により気づきを促し、来所相談にきた保護者に対応することができた。また、教職員のメンタルヘルスに早期対応ができた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 大学教授・臨床心理士による拡大校内研修への支援、教職員のメンタルヘルス、心のケアリーフレット配付について、今後も継続していく。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	② 教育施設の避難所機能の充実

所管課：社会教育課

取組	No.54	【重点取組】地区公民館の耐震化
取組内容	災害時の指定避難所、防災拠点である地区公民館の耐震化は非常に重要であることから、昭和56年以前に建設された公民館について、国の交付金等を活用して耐震診断と耐震改修の促進に取り組めます。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・建替が必要な館 4館 (館, 江陽, 根城, 是川) ・29年度に建替した館 1館(是川) ※3館(館, 江陽, 根城) は28年度建替済み 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月に是川公民館の建替が完了し、その結果4館全ての建替が完了した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	・是川公民館は、30年3月末に完成した。				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・根城公民館については、駐車場整備工事完了へ向けて取り組んでいく。 ・是川公民館については、旧公民館解体工事及び駐車場整備工事完了へ向けて取り組んでいく。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅲ－５－③－取組 56 【重点取組】小・中学校における防災教育の推進

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	③ 防災教育の推進

所管課：教育指導課

取組	No.56	【重点取組】小・中学校における防災教育の推進
取組内容	東日本大震災での多くの教訓を生かし、これまで以上に児童生徒一人一人が自分の命を自ら守る力を養う教育に力を入れていく必要がある。そこで、各小・中学校が開催する防災教室に対し、講師(防災士、消防士、高等教育教員、危機管理職員等)を派遣し、災害時に児童生徒が自らの命を守ろうとするための適切な行動ができるように、自らの危険を予測し、危険を回避しようという態度や能力の育成を支援します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 防災教室実施回数 (11回) 小学校 (8回) 中学校 (3回) 	<ul style="list-style-type: none"> 防災士、防災危機管理課職員による防災教室を実施した。 平成28年「八戸版防災ノート(改訂版)」の見直しを行い、「防災ノート」(二訂版)を配付した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 防災教室実施校の事後アンケートでみると99%の児童生徒が、防災に対する取組の大切さを感じており、防災意識の高まりにつながっている。 防災の学習の副読本として活用できるよう、「防災ノート」(二訂版)を配付することができた。 行事や授業の中での「防災ノート」の活用が増えており、災害時の具体的行動や危険を回避する能力の育成につながっている。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域社会と連携した防災意識の向上につながる「防災ノート」(二訂版)の活用方法について各学校から情報を収集し、活用方法の共有化を図る。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標6 参加と連携の推進
施策の分類	① 学校・家庭・地域の連携の推進

所管課：教育指導課

取組	No.57	【重点取組】地域密着型教育推進事業(再掲)
取組内容	<p>児童生徒の確かな学びと豊かな育ちに資することを目的として、全小・中学校で地域密着型教育を推進し、運営に関して、地域の住民及び保護者等の参画等を進めるものとします。具体的には、保護者及び地域住民が学校運営に参画できる「地域学校連携協議会」を設置し、地域住民等と学校の協働による「開かれた学校づくり」を推進します。また、コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアを活用できるよう、「地域学校連携協議会」の各組織の活性化に向けて支援します。</p>	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同説明会 (1回 118名参加) ・ 地域密着型教育研修会 (1回 88名参加) ・ コーディネーター研修会 (1回 42名参加) ・ 実践発表 (2回 3校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長または教頭とコーディネーターの合同の説明会を開催した。 ・ 「地域学校連携協議会」に各校担当主任指導主事等が出席し支援と助言を行った。 ・ 各校において、コーディネーターを中心に、学校支援ボランティアと学校司書とが連携し、図書ボランティア講習会等を開催した。 ・ 実践発表会で長者小学校と小中野中学校、教育の広場で江南小学校のコーディネーターが実践発表を行った。 ・ 地域学校連携協議会委員や地域住民等を対象に発表会等の周知活動を開催することができた。 ・ 地域密着型教育研修会・コーディネーター研修会では、外部講師を招聘して講演会と演習を行った。 講師：特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表 竹原和泉 氏

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同説明会やコーディネーター研修会、報告集の作成・配付等を通して、事務手続きや具体的な取組についての情報を共有できた。 ・ コーディネーターの複数配置を進めたことにより、学校支援ボランティアと学校司書との連携が図られ、学校支援ボランティア活動が充実してきた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1校を除く全小・中学校にコーディネーターが配置されているが、地域住民・保護者・学校が連携・協働するしくみの定着と活動のさらなる充実のために、コーディネーターの増員（各校に複数配置）が必要である。 ・ 学校支援ボランティアの確保のために、ボランティアの共有や地域住民への情報発信が必要である。 				<ul style="list-style-type: none"> ■ 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

IV-7-①-取組 61 【重点取組】地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標7 社会教育・家庭教育の充実
施策の分類	① 社会教育施設等の整備・充実

所管課：社会教育課

取組	No.61	【重点取組】地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進
取組内容	<p>公民館は、地域住民へ充実した学習機会を提供するとともに、住民のまちづくりや地域づくり活動を推進するため、施設を会合や準備作業等の場として積極的に提供します。</p> <p>また、職員は地域の実情に合わせ、地域づくりに取り組む人材の育成や団体の組織化などを柔軟に支援します。</p>	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 貸館件数 1,394件 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会などの地域の団体への貸館 地域づくり支援用パソコンの貸出 地域づくり団体への複写機・輪転機の使用料の減免 (平成27年度より)

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	○
評価理由	<p>・地域づくりに取り組む支援の具体策として、複写機及び輪転機を無料で利用できるようになったため、住民のまちづくり活動・地域づくり活動の活性化に寄与している。</p>				
今後の方向性	<p>・町内会や地域づくり団体への貸館の推進や、地域づくりに取り組む支援の具体策として、複写機・輪転機の無料使用を継続するとともに、それらの団体が行う人材の発掘や育成を、積極的に支援する必要がある。</p>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標7 社会教育・家庭教育の充実
施策の分類	② 家庭・地域の教育力の充実

所管課：社会教育課・総合教育センター・図書館・博物館

取組	No.63	【重点取組】家庭の教育力充実事業
取組内容	家庭教育や子育てに関する専門家を講師に招き、教育関係者や子育て中の保護者を対象に家庭教育研修会を開催します。また、幼稚園・保育所(園)・認定こども園・小・中学校及びPTAを実施主体として、家庭教育に関する講座「子育て・親育ち講座」を実施し、家庭における教育力の充実に図ります。さらに、児童科学館・公民館・図書館・博物館においても、子育てに関する学級や、親子で学習する講座など、各施設の特徴を生かした講座を開催します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	講座等開催回数 【社会教育課】 家庭教育研修会 3回 (562人参加) 子育て・親育ち講座 16回 (18小・中学校、幼・保育園) 【児童科学館】 9回 (195人参加) 【図書館】 30回 (291人参加) 【博物館】 10回 (293人参加)	【社会教育課】 ・学校関係者、保護者を対象に家庭教育研修会を開催した。 ・学校・幼稚園・保育所(園)・認定こども園を実施主体とし、子育て・親育ち講座を開催した。 【児童科学館】 ・保護者を対象に映像を利用した学習会や講師を招いての学習会などの「映像利用学習会」を開催した。 【図書館】 ・「調べる学習講座」「調べる学習相談会」「ちいさなこどものためのわらべうたと絵本の会」を開催した。 ・南郷図書館では「NAN号てんもん教室」「調べる学習講座」「おひざにだっこ」を開催した。 【博物館】 ・「折り紙かぶと」教室などを開催した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 他の講座との併催や、託児室を開設するなど、保護者が参加しやすい環境づくりを行った。 各施設で開催することにより、家庭の教育力の大切さについて、広く周知することができた。 親子で参加できる講座では、親子で一緒に学ぶ楽しさを感じることやスキンシップを図られるよう内容を工夫した。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の特徴を活かし、多くの人が興味を持ちやすい講座等とするとともに、開催場所・時間を工夫する。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	① 多様な学習機会の提供

所管課：社会教育課

取組	No.68	【重点取組】八戸市民大学講座
取組内容	市民の生涯学習の場として、各分野における専門家や第一人者、八戸市に縁のある方などを講師に迎え、変化する社会の動きに興味・関心をもち、豊かな教養を身に付けられるような講座を開設します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> 受講者数 5,368人 修了者数 98人 	<p>前期9講義、後期9講義、全18講義を開催した。</p> <p>修了者は、全講座のうち2/3（12回）以上受講した者</p> <ul style="list-style-type: none"> 受講者を対象としたアンケート調査を実施 回答者数 832人（男294人／女534人／無記入4人）

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	○	○	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の受講者数は例年を大きく上回る7,592人だったが、29年度は例年並みの5,368人であった。 受講者アンケートによる満足度は満足48.4%、まあまあ満足26.6%、普通15.9%、やや不満0.7%、不満1.1%（無記入7.3%）となっており、受講者の年齢層に偏りが見られるものの、概ね高評価と考える。 平成28年度に実施した無作為抽出アンケートの結果を参考に、さまざまな曜日・時間帯で開催した。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習の一環として開設している市民大学講座をより充実させるため、引き続き、社会の動向に対して興味・関心を養えるような講座の開設に努める。 今後も、受講者アンケートを実施するなど、受講者の希望に沿った講座内容、実施方法の見直し等を検討して実施していく。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：総合教育センター・図書館・是川縄文館・博物館

取組	No.72	【重点取組】学校出前講座の開催
取組内容	<p>【児童科学館】小・中学校を会場として科学実験や天文教室を行い、子どもたちが科学の面白さに触れられるよう支援します。</p> <p>【図書館】図書に関する理解や関心を深めてもらえるよう、職員が小・中学校へ出向き、教諭・ボランティア等を対象に、学校図書館の図書の整理や読み聞かせの仕方などについて講座を開催します。</p> <p>【是川縄文館・博物館】学芸員やボランティアが地域の文化財を生かした講座を開催し、郷土の歴史学習・体験学習を支援します。</p>	

	実績値等	実施内容
実施状況	出前講座開催回数 ・児童科学館 34回 ・図書館 5回 ・是川縄文館 3回 ・博物館 4回 ・歴史民俗資料館 1回	<p>【児童科学館】</p> キッズ工房（工作体験・科学実験）、出前授業、移動天文教室を実施。 <p>【図書館】</p> 学校図書館で、学校の希望する内容について講座を開催し、助言や情報提供を行った。 ・訪問校 小学校 4校 中学校 1校 ・講座内容 図書の修理、展示の仕方、図書の分類と整理 <p>【是川縄文館】</p> ・訪問校 小学校 2校、合同開催1回（是川小・是川中） ・講座内容 縄文土器作り等・講話、制作品野焼き指導 <p>【博物館・南郷歴史民俗資料館】</p> ・訪問校 小学校 5校 ・講座内容 「昔の暮らし」

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	・ 保育園や小・中学校等からの依頼により、各施設の特色を活かした内容の講座を開催することができた。 ・ 子どもや各団体の参加者が関心を持ち、理解を深められるよう、体験型の学習内容にするなど工夫した。				
今後の方向性	・ 学校教育と連携し、小・中学校のニーズに応じた体験活動の検討に努めながら継続していく。 ・ 各学校への周知・広報活動を進め、利用校拡充に努める。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：図書館

取組	No.75	【重点取組】図書館の利用促進
取組内容	市民の読書要求・調査研究を支援するため、子どもから大人まで、それぞれの世代が求める多種多様な資料の収集と広報活動の充実を図り、図書館の利用促進に努めます。また、図書館本館・南郷図書館・図書情報センターの相互利用や、移動図書館の巡回、分室の運営などにより、市民が利用しやすい図書館づくりに努めます。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 購入 14,879冊 3館での貸出 791,149冊 移動図書館による貸出 28,958冊 6分室での貸出 17,612冊 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の要望や社会的動向に配慮しながら、各分野にわたる資料を幅広く収集した。 移動図書館車により、毎月1回市内10コース50箇所を巡回し、貸出等を行った。 6分室（市内の公民館等に設置）において、地域ボランティアにより、毎週1～2回、貸出しを行った。 本館・南郷図書館・図書情報センターの3館は、どの館の図書でも貸出・返却・貸出予約ができることを、ホームページや館内カウンターで周知し、相互利用の促進に努めた。 季節や行事に合わせた図書の展示、本と雑誌のリサイクルフェアなど、資料を活用した各種イベントを企画・開催した。

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集においては、利用者ニーズを踏まえながら、あらゆる世代が求める資料を提供できるよう努め、3館での貸出冊数は、前年度比で約4,000冊増となった。 本館・分館の相互利用、分室や移動図書館の運営により、広域的な利用ができるよう努めた。 移動図書館の巡回先について見直しを図り、図書館利用が困難な地域の利用拡大を図った。 平成29年12月、連携中枢都市圏を構成する8市町村で、図書館等の相互利用に関する協定を締結し、広域的に図書館を利用できる環境づくりに努めた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 内容が古く資料的価値がなくなったもの、利用が低下し同じ本が複数あるもの等の除籍を進め、蔵書の質を高めていく。 図書館利用案内の周知を行い、新しい利用者の開拓を図り、読書人口の増加を目指すとともに、所蔵資料のPRイベントの企画、利用者サービスの内容の充実を図り、利用率向上に努めていく。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：是川縄文館

取組	No.78	【重点取組】是川縄文館各種展覧会・体験講座等開催事業
取組内容	是川遺跡に関連する各種特別展、企画展を開催します。また、考古学講座等の講座やサポートスタッフ研修会を開催し、体験講座等にボランティアを活用します。	

実施状況	実績値等	実施内容
	<p>特別展・企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 4回 来館者 16,388人 <p>教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 全213回 参加者 5,159人 	<p>特別展・企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> 「掘り day はちのへ-平成29年度発掘資料展」 「発掘された日本列島2017」 「是川縄文ムラを観る・描く」 パネル展 「伝える-大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 Vol.3-」 <p>教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界文化遺産等の講座 25回 平成29年度遺跡発掘調査報告会 1回 土曜日体験教室 6回 縄文体験コーナー 53回 グループ・団体の体験学習 95回 企画展・特別展ギャラリートーク 30回 企画展及び特別展関連イベント 3回

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
		○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 館外資料を借用展示する特別展・企画展の開催により、縄文文化の素晴らしさや、八戸地域の歴史についての興味感心が深められた。 特別展・企画展イベントの充実により、生涯学習やボランティア活動の機会拡充が図られた。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 特別展・企画展、考古学講座は、今後も是川遺跡や縄文文化、埋蔵文化財への関心を高める内容を企画する。 体験教室等も、資料内容を更新し、事業内容のさらなる充実に努め、各事業のより一層の広報活動を実施する。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：博物館

取組	No.79	【重点取組】 博物館・南郷歴史民俗資料館 各種展覧会・体験講座等開催事業
取組内容	歴史・民俗の各分野を紹介する特別展、企画展を開催します。また、博物館クラブ等の体験講座や講演会、根城史跡ボランティアガイド養成講座を開催します。	

	実績値等	実施内容
実施状況	<p>特別展・企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 7回開催 入館者数計 15,323人 ・南郷歴史民俗資料館 2回開催 入館者数計 4,241人 <p>教育普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 34回開催 ・南郷歴史民俗資料館 8回開催 	<p>【特別展・企画展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 特別展 2回開催(キレモノ、米展) 企画展 5回開催(新収蔵資料展、ミニパネル展八戸の災害、えと展、えんぶり展、ひな人形展) ・南郷歴史民俗資料館 企画展 2回開催(しあわせのリカちゃん展、思い出の学校展) <p>【教育普及事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 博物館クラブ等の体験講座 16回開催 講演会 7回開催 ギャラリートーク 6回開催 館外フィールドワーク 2回開催 根城史跡ボランティアガイド養成講座 3回開催 ・南郷歴史民俗資料館 民俗講座 8回開催

評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	・特別展・企画展を開催する上で、子どもから大人まで幅広い層が関心を持てる内容にしたことや、特別展での体験講座の増設や展示方法を工夫したことが入館者に好評であった。				
今後の方向性	・入館者増を図るため、市民のニーズに応じた展覧会・体験講座等の開催に努める必要がある。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

【重点取組以外の取組】

目標ごとの点検及び評価一覧

取組の概要・実施状況・評価結果

【重点取組以外の取組】 目標ごとの点検及び評価

方向性Ⅰ 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標1 就学前教育の充実			
②就学前教育環境の整備・充実	2	私立幼稚園補助金	◎
目標2 義務教育の充実			
①教育内容・指導の充実	4	学校訪問(計画訪問・要請訪問)	○
	6	さわやか八戸グッジョブウィーク事業	○
	7	学力実態調査	○
	9	各種研修の実施	◎
	10	いじめの問題に対する取組	○
	11	学校飼育動物ネットワーク支援事業	◎
	12	いのちを育む教育アドバイザー事業	◎
③健康に関する指導の充実	16	「新体力テスト」の結果の活用	○
	17	栄養教諭・学校栄養職員の活用	◎
④教育環境の整備・充実	19	学校図書館を利活用した教育の充実	○
	21	新学校給食センター建設事業	◎
⑤国際理解教育の推進	25	青少年派遣交流事業	◎
⑥情報教育の推進	28	教職員のICT活用指導力の育成	◎
	29	情報モラル指導の充実	◎
目標3 高等学校教育・高等教育の充実			
①高等学校教育・高等教育の充実	31	私立高等学校助成補助金	◎

方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標4 文化財の保存と活用			
①史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用	35	史跡等環境整備事業	○
	36	史跡根城の広場の活用事業	○
	37	名勝種差海岸の保護管理事業	○
	38	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」保護事業	○
	39	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存・広報事業	○
②埋蔵文化財の記録保存	40	八戸市内遺跡発掘調査事業	○
③民俗文化財の保存・継承	42	「民俗芸能の夕べ」開催事業	○
	43	郷土芸能ビデオライブラリー事業	○
④有形文化財の保存・管理	45	指定文化財管理事業	○
⑤歴史記録の保存・活用	46	先人周知事業	○
	47	史跡等標示事業	○
	50	研究紀要の発行	◎
	51	収蔵資料の活用	◎

方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実			
①児童生徒の就学支援と教育相談の充実	52	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和	○
②教育施設の避難所機能の充実	55	小・中学校における避難所機能の整備	—

方向性Ⅳ 地域・社会ぐるみの子育てを支援します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標6 参加と連携の推進			
①学校・家庭・地域の連携の推進	58	さわやか八戸グッジョブウィーク事業(再掲)	○
②教育資源の多様な活用	59	教育支援ボランティア推進事業	○
目標7 社会教育・家庭教育の充実			
①社会教育施設等の整備・充実	60	公民館の施設整備	—
	62	図書館施設の整備	○
目標8 青少年の健全育成			
①青少年の健全育成活動の推進	64	少年相談センター活動	○
②青少年の交流の推進	65	南部藩ゆかりの都市との交流事業	◎
	66	青少年派遣交流事業(再掲)	◎
③青少年の地域活動の推進	67	青少年の地域活動の推進事業	◎

方向性Ⅴ あらゆる世代に多様な学習機会を提供します

各目標ごとの施策の分類	No.	取組名	評価
目標9 生涯学習の充実			
①多様な学習機会の提供	69	放送大学支援事業	○
	70	公民館講座の開催	○
	71	ICT 講習会の開催	○
②特色ある社会教育施設活動の充実	73	児童科学館各種体験活動	◎
	74	「青少年のための科学の祭典」	○
	76	「調べる学習コンクール」の開催	◎
	77	「市史講座」の開催	◎
	80	博物館資料の収集・公開	○

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 1 就学前教育の充実
施策の分類	② 就学前教育環境の整備・充実

所管課：学校教育課

取組	No.2	私立幼稚園補助金				
取組概要	市内の学校法人が設置する私立幼稚園及び認定こども園に対して、教材・教育備品の整備及び施設・設備の整備等に要する費用を助成し、幼児教育の振興と充実を図ります。					
実施状況	・ 交付申請のあった20園に対し、9,330,000円を交付した。					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	◎	◎	◎	◎	◎	
評価理由	・ 昭和58年度から市単独事業として実施し、教育環境の整備・充実が図られ、本市の幼児教育の振興に役立っている。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.4	学校訪問(計画訪問・要請訪問)			
取組概要	<p>計画訪問は、『わかった！できた！身についた！』が実感できる質の高い授業づくりとそれを支える教師力・学校力の強化のための取組状況の把握と授業改善・授業力向上への指導・支援を目的として、市内全小・中学校に対して年1回行います。</p> <p>要請訪問は、教師の指導力向上と校内研究推進を目的として、集中授業や一般研修等について学校の要請に応じて行います。</p>				
実施状況	<p>計画訪問（全小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の説明に関する協議、授業参観と指導・助言等を行った。 <p>要請訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中授業を参観し、協議会で指導・助言を行った。（小学校44回、中学校19回） ・一般研修等支援として、情報モラルや道徳、特別支援教育等について実施した。（小学校21回、中学校5回、小中連携3回） 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会において、ワークショップ型(全員参加型)の協議を取り入れる学校が増えるなど、校内研究が推進されてきている。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：教育指導課

取組	No.6	さわやか八戸グッジョブウィーク事業			
取組概要	<p>「地域の子どもは地域ではぐくむ」という視点で、学校・家庭・地域社会が連携し、中学校2年生を対象として、地域の事業所における3～5日間の職場体験活動を通して、望ましい勤労観及び職業観を育成します。</p>				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校（24校）で、中学校2年生を対象に、地域の事業所で職場体験を行った。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の一環として取り組むことができた。 ・各学校の事後アンケート結果から、望ましい勤労観及び職業観とともに、自己有用感（自分は役立っているという気持ち）の高揚が見られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.7	学力実態調査			
取組概要	小学校5・6年生児童と全中学校生徒の学力を把握し、学校教育に対する適切な指導・支援を推進するとともに、関係諸事業に活用しています。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月中に学力調査(NRT)を実施した。 ・ 6月下旬までに、小・中学校へ自校及び市の結果を配付し、各校で分析・考察及び指導の改善に活用した。 ・ 学校訪問で各校の活用状況を把握し、指導・支援を行った。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校において、児童生徒の学力及び生活や学習の状況を把握することで、指導の改善に役立っている。 ・ 学校訪問等での助言をもとに、小・中学校で連携した分析や活用等につながっている。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：総合教育センター

取組	No.9	各種研修の実施			
取組概要	教員の授業力・指導力向上のための講座や、教育の情報化、特別支援教育に対する講座など、教職員の資質向上、市の教育課題や今日的な課題に対応するための各種研修を実施します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者数延べ3,508人（平成28年度2,535人） ・ 全97講座実施（平成28年度53講座） <講座内訳> (1) 基本研修（法定研修である初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修）44講座 (2) 一般研修（職務・準職務研修及び選択研修）43講座 (3) 市民公開研修（市民教育公開講座、市民英会話教室、市民パソコン教室）10講座				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中核市移行に伴い、市内教職員の新たな研修体系を構築し、実施した。 ・ 受講者アンケートでは、9割が「研修が自分の課題解決となった」と回答している。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.10	いじめの問題に対する取組			
取組概要	いじめ問題に児童生徒が主体的に取り組めるよう、小学生対象の「いじめ問題等に関する対話集会」と中学生対象の「生徒会交歓会」を開催し、自らいじめ等の問題について話し合い、いじめ等の未然防止のためにどのような活動をすればよいかを考えることで、思いやりあふれる児童生徒の育成を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に「いじめ問題等に関する対話集会」を開催し、いじめ根絶宣言の唱和、児童による話し合いを行った。(各小学校から2名ずつ参加) ・各小学校では参加した児童が中心となり、いじめ防止に向け「いじめしま宣言」などの様々な取組を展開した。 ・中学校では、生徒会交歓会において、各校のいじめ問題への取組やインターネット利用等について意見交換を行った。 ・各校で計画委員や生徒会役員が中心となり「いじめ根絶宣言」の唱和を行った。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題等に関する対話集会」では、「いじめゼロ 今わたしたちにできること」のテーマで分科会、全体会が行われ、活発な意見が出され有意義な集会となった。 ・生徒会交歓会分科会では、各校におけるいじめ未然防止の取組やインターネット利用等について意見交換がなされ、有意義な話し合いがなされた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：教育指導課

取組	No.11	学校飼育動物ネットワーク支援事業			
取組概要	小動物との触れ合いを通して、児童に豊かな心(思いやりの心、生物愛護・生命尊重の態度等)を育むために、学校飼育動物の飼育管理等について、地域の獣医師(八戸市学校獣医師)と連携したネットワークの構築を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において学校獣医師による、「ふれあい指導」と「適正飼育管理指導」を実施した。 ・学校飼育動物ネットワーク研修講座を開催した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・各校及び学校獣医師から提出された報告書や感想から、児童に生物愛護の態度等や「命」を大切にしようとする心が育まれていることがうかがえる。 ・各校の動物飼育環境が衛生的に保たれている。 ・獣医師会との協力により室内での小動物の飼育(モルモット)の実践校が増えた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	① 教育内容・指導の充実

所管課：教育指導課

取組	No.12	いのちを育む教育アドバイザー事業			
取組概要	生徒が自己の性に対する認識をより確かなものにするための性に関する専門的な指導を行い、性にかかわる諸問題に対して適切に判断し対処できる資質や能力の育成を支援します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全中学校で、アドバイザー（医師）による性に関する講演会を実施した。 ・沐浴実習を実施した（2校） 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・各校及び各いのちを育む教育アドバイザーから提出された報告書や感想、アンケートから、生徒の性に対する正しい理解だけでなく、自他の性を尊重する態度や「命」を大切にする意識の高揚など、生徒の変容をより客観的に把握することができた。 ・道徳の他教科との関連も図られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	③ 健康に関する指導の充実

所管課：学校教育課・教育指導課

取組	No.16	「新体力テスト」の結果の活用			
取組概要	平成11年度から文部科学省が導入した「新体力テスト」を実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の実態を把握し、指導の計画・方法・形態等を見直し、運動能力の向上を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度の小・中学校全学年の結果を集計するとともに、学年ごとの平均値を「八戸市児童生徒の健康と体力」に掲載し周知した。 集計結果を活用し、児童生徒に自分の体力を理解させるとともに、授業において各種運動に取り組んだ。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 各学校において、市内平均値をもとに課題を明らかにするとともに、課題解決のために、教育課程の編成や授業の改善に活かすなど各学校での取組の充実が図られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：学校教育課

取組	No.17	栄養教諭・学校栄養職員の活用			
取組概要	学校における食育の推進に中核的な役割を担う栄養教諭や、学校給食の栄養に関する専門的事項をつかさどる学校栄養職員を活用した食に関する指導の充実を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭・学校栄養職員を活用した授業を67校中51校（76.1%）の学校が行った。 「おやつのおべ方」「食事のマナー」「お弁当のおかず」など児童生徒に身近な内容の学習が行われた。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 参観日等を活用して、児童生徒のほか、保護者や地域に対して啓発を図るなど、活用数は増加した。 家庭科や保健、学級活動等、年間計画の中に位置づけた食に関する指導が行われた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	④ 教育環境の整備・充実

所管課：教育指導課・総合教育センター

取組	No.19	学校図書館を利活用した教育の充実			
取組概要	児童生徒の読書活動を充実させるため、各小・中学校の蔵書数の増加を図るとともに、学校図書館ネットワークを活用して、データベース化した蔵書を学校間等で相互貸借するなど、図書資料の有効活用に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館用図書購入費の執行率 94.3% ・ 小学校図書充足率 90.8% 中学校図書充足率 77.8% ・ 小・中学校及び総合教育センターの蔵書数 約480,000冊 ・ ネットワークを利用した学校間の図書の貸借冊数 328冊 ・ 学校訪問を通して小・中学校の図書室の状況を把握し、学校図書館担当者会議等において、学校図書館の有効な活用方法について指導・助言を行った。 ・ 学校司書が、派遣校において学校図書館の読書環境の整備を行った。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も、各学校の図書室にある蔵書のデータベース化を進め、図書ネットワークシステムで結んだ学校間の図書の相互貸借を図った。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：学校教育課

取組	No.21	新学校給食センター建設事業			
取組概要	老朽化した西地区給食センターに代えて、衛生管理が行き届き、十分な調理機能を備えた給食センターを建設します。市内の児童生徒数及び既存給食センターの状況を踏まえ、10,000食/日程度の調理規模を目安とした施設とします。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期工事[平成27年度からの繰越分]の完了（建物）前期工事の完了（外構） ・ センター内に体験型の食育スペース整備 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ H29年2月末に建物工事を完了し、予定どおり平成29年4月から供給開始した。（アレルギー対応食提供は2学期から開始） ・ 食育スペースは、学校、PTA団体等が見学、視察で利用した。 ・ 施設紹介用のDVDとパンフレットを作成した。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑤ 国際理解教育の推進

所管課：教育指導課

取組	No.25	青少年派遣交流事業			
取組概要	青少年(中学生)を海外へ派遣し、訪問国の歴史、文化、教育等の視察や青少年との交流を行います。また、海外からの青少年交流団の受け入れ、諸外国の伝統・文化等に対する理解を深める教育を推進します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校から参加し、アメリカ及びニューカレドニアへ派遣した。(24人) 訪問国の歴史、文化、教育等の視察や、学校訪問、ホームステイを通して青少年との交流を実施した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 一般家庭へのホームステイを通じて、直に海外の生活、文化に触れることで、より国際理解が深まった。 全体の報告会や各学校の文化祭等で交流の様子や学んだことについて、プレゼンテーションソフトを使用するなど、工夫を凝らして発表した。 事前研修や報告会に向けての取組により生徒同士の交流も深められた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 2 義務教育の充実
施策の分類	⑥ 情報教育の推進

所管課：総合教育センター

取組	No.28	教職員の ICT 活用指導力の育成			
取組概要	教員の ICT 活用指導能力の向上を図り、ICTを活用した確かな学力の育成と、教育活動の質の向上を目指します。				
実施状況	・学校計画訪問で、校務や授業でのICT活用推進の支援を行った。特に要請訪問・一般研修訪問を7回行った。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	◎
評価理由	・「平成28年度教職員のICT活用指導力の状況調査」では、調査5項目全てにおいて活用状況の向上が見られた。 <調査結果>				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止
		調 査 項 目	H27年度	H28年度	
1	教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用できる	84.4%	86.3	+1.9%	
2	授業中にICTを活用して指導できる	77.7%	78.1	+0.4%	
3	児童生徒のICT活用を指導できる	66.6%	69.4	+2.8%	
4	情報モラルなどを指導できる	76.6%	79.9	+3.3%	
5	校務にICTを活用できる	80.9%	85.3	+4.4%	

所管課：総合教育センター

取組	No.29	情報モラル指導の充実			
取組概要	個人情報の保護・人権侵害・著作権等に対する対応、危険回避やネットワーク上のルール・マナーなど、情報社会で適正な活動を行うためのもとなる考え方と態度(情報モラル)の指導の充実を図ります。				
実施状況	・初任者研修・ICT活用研修講座・校内研修等で情報モラルに関する授業のあり方についての研修を行った。 ・教科等研究委員(情報モラル)の実践を発表会及び情報モラル研修講座で発表した。 ・学校訪問等で、各教科等における情報モラル教育の指導の充実に向けた支援・指導を行った。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	◎
評価理由	・情報モラルに関する研修内容を初任者研修に盛り込み、すべての教員が学ぶことができるように研修体系を見直した。 ・学校保健委員会等、保護者と一緒に情報モラルについて学習する場が増えてきており、その際の研修支援を行った。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性 I 子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育成します
目標	目標 3 高等学校教育・高等教育の充実
施策の分類	① 高等学校教育・高等教育の充実

所管課：学校教育課

取組	No.31	私立高等学校助成補助金			
取組概要	市内の私立高等学校・私立中高一貫校に対して、教材・教育備品の整備及び施設・設備の整備等に要する費用を助成し、高等学校教育の振興と充実を図ります。				
実施状況	・ 交付申請のあった6校に対し、2,967,700円を交付した。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	・ 昭和46年度から市単独事業として実施し、教育環境の整備・充実が図られ、本市の私立高等学校・私立中高一貫校の教育の振興に役立っている。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：社会教育課・是川縄文館・博物館

取組	No.35	史跡等環境整備事業			
取組概要	史跡の公開・活用を図るため、市内にある長七谷地貝塚、是川石器時代遺跡、丹後平古墳群、根城跡の4史跡の環境整備に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長七谷地貝塚、丹後平古墳群、是川石器時代遺跡、根城跡の史跡内公有地の草刈等清掃を実施した。 ・史跡根城跡の今後の適切な保存活用に資するため、「史跡根城跡保存活用計画」を見直し、第三者委員会や文化庁の意見聴取のもとに、改定案を作成した。 ・老朽化が進んでいた史跡根城跡の本丸にかかる木橋を改修した。 ・是川石器時代遺跡の積極的活用を促進するため、史跡整備の方針となる「史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画」を策定した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	◎	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理作業や、施設・設備の修繕を計画通り実施し、各史跡の保護・景観維持が図られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：博物館

取組	No.36	史跡根城の広場の活用事業			
取組概要	中世の城郭である史跡根城跡を紹介するとともに、復原・整備された史跡を活用して、「根城おもしろ講座」など各種事業の開催に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・根城おもしろ講座10回開催(講演会3回 体験講座7回) 参加者 258人 ・特別企画「端午の節句～鎧を着よう」 参加者 552人 ・ものづくり体験工房(51回開催) 参加者 249人 ・史跡根城まつり 入場者 1,680人 ・史跡根城さくらまつり 入場者 1,850人 ・史跡根城えんぶり撮影会 入場者 495人 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「根城まつり・さくらまつり」や特別企画、体験工房は 前年度以上の参加者・入場者数となった。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅱ－４－① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：社会教育課

取組	No.37	名勝種差海岸の保護管理事業			
取組概要	名勝種差海岸を適切に保存管理するため、パトロールによる監視、増殖が問題となる植物の駆除、周知看板の設置などを行い、美しい景観の保護に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回パトロール157回実施 ・ボランティアによる外来植物駆除7回実施 ・注意看板2基を改修 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・名勝種差海岸の適切な管理と景観の保護が図られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.38	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」保護事業			
取組概要	天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」を適切に保存管理するため、ウミネコ飛来時期における保護監視に加え、草刈りと清掃作業による環境整備を行い、繁殖環境の保護に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間体制の監視を4月1日から8月8日の期間実施 ・草刈り清掃を11日間実施 ・外来植物駆除を1日間実施 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・例年どおりの営巣数約15,000箇所が確認され、天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」の適切な保護が図られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	① 史跡・名勝・天然記念物などの保存・活用

所管課：博物館

取組	No.39	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存・広報事業				
取組概要	浜小屋及び漁撈民俗資料の保存管理をするために、地元保存会による浜小屋のいぶしや学芸員による資料点検などの管理保全に努めながら、さらに紹介リーフレットを作成し周知に努めます。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜小屋いぶし ・ 資料の点検 ・ 浜小屋紹介リーフレットの配付 					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	○	○	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵資料の点検を実施し、現在の状態を把握できた。 ・ 児童、生徒にわかりやすい内容のリーフレットを配付し周知に努めた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	② 埋蔵文化財の記録保存

所管課：是川縄文館

取組	No.40	八戸市内遺跡発掘調査事業			
取組概要	遺跡は各種開発によって無くなってしまいうため、工事の着工前に発掘調査及び試掘調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存を図るとともに、その成果の公開に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 一王寺遺跡・雷遺跡・新井田古館遺跡など38件の発掘調査を実施し、埋蔵文化財の記録保存を行った。 遺跡調査報告会を実施し、平成29年度の調査成果を市民に公開した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査及び報告書作成が円滑かつ適正に実施され、埋蔵文化財の記録保存が図られた。 遺跡の現地説明会は、工期や駐車場などの都合により開催することができなかった。 遺跡調査報告会の参加者は60人の参加があり、埋蔵文化財に対する市民の理解促進に一定の効果があったと考えられる。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	③ 民俗文化財の保存・継承

所管課：社会教育課

取組	No.42	「民俗芸能の夕べ」開催事業			
取組概要	伝統的な民俗芸能の活性化と市民への周知を図るため、市内の民俗芸能団体に発表の機会を提供するとともに、市民への公開を行っています。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「第40回民俗芸能の夕べ」を開催 ・出演団体 4団体 ・観客数 約300人 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能団体に発表の場を提供することにより、民俗芸能の伝承を図ることができた。 ・第40回記念として八戸藩伝神道無念流居合に特別出演していただいた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.43	郷土芸能ビデオライブラリー事業			
取組概要	地域に残る民俗芸能の保存と伝承のため、各団体の演舞や活動内容を撮影し、デジタル映像として記録保存します。また、過去に撮影・保管している古い映像等のデジタル化と編集を行い、貸し出し・公開等により市民へ還元します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未撮影団体及び撮影済団体の現況撮影 芸能6団体・三社大祭計9回撮影 ・映像資料の貸し出し ・ホームページの整備 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化により古い貴重なテープ映像を劣化から守るとともに、民俗芸能継承のための資料としての記録保存が図られた。 ・未撮影団体の撮影が進んだ。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	④ 有形文化財の保存・管理

所管課：社会教育課

取組	No.45	指定文化財管理事業			
取組概要	文化財をより良い形で後世に引き継ぐため、主に建造物などの有形文化財に対し、補修などに要する経費の一部を補助します。				
実施状況	・国重要有形文化財である「清水寺観音堂」の防災設備保守点検経費に補助金を交付した。 交付実績 14,000円				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	・防災設備の機能維持により、建造物の保存に貢献した。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：社会教育課

取組	No.46	先人周知事業			
取組概要	郷土の歴史と文化に対する市民の理解を深めるため、先人の功績をまとめたパネルを制作し、その公開に努めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・先人パネル5枚制作(先人名：石橋宏一郎、小國英雄、佐々木泰南、村井倉松、山内亮) ・パネル展1回開催 ・八戸市ホームページによる一部公開 新規公開5名分 ・外部への貸し出し 2件 (5名分) 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・当市の発展に寄与した先人の功績を知る機会を提供したことにより、市民の歴史と文化に対する理解が深まることに貢献した。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.47	史跡等標示事業			
取組概要	歴史的由緒のある地名・場所などを後世に伝えるため、その概要を記した標柱や説明板を設置し、市民に広く周知します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「塩町」の標柱を設置 ・「八日町」「十三日町」「寺横町」「徒士町」の標柱を修繕 ・既存施設の道路占用及び土地使用貸借契約期間の更新 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的由緒ある地名・場所などを後世に伝えることで、市民の郷土の歴史と文化に対する理解が深まることに貢献した。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅱ 八戸の個性豊かな文化と恵まれた自然に対する誇りと愛着をはぐくみます
目標	目標４ 文化財の保存と活用
施策の分類	⑤ 歴史記録の保存・活用

所管課：是川縄文館・博物館

取組	No.50	研究紀要の発行			
取組概要	八戸市の埋蔵文化財を中心に、考古学・自然科学・保存科学等の諸分野から、年度毎に調査研究の成果を公表します。また、共同研究事業の年次成果をあわせて公表し、埋蔵文化財の保存と活用、普及啓発に役立てます。				
実施状況	<是川縄文館> ・研究紀要第7号刊行（平成30年3月30日、モノクロ、30頁、500部） ・論文2報収録 <博物館> ・研究紀要第22号〔改訂版〕刊行（平成30年3月31日、モノクロ、38頁、300部） ・論文2報収録				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	・共同研究事業の総括を掲載し、八戸地域の古景観を復元する上で有用な研究成果を公表することができた。 ・縄文時代後期の土器についての研究を公表することができた。 ・丹後平古墳群出土遺物の科学分析により、新たな知見が多く得られたことから、研究紀要で広く公開することとし、22号で公表した研究成果に最新の分析結果を加えて改訂版として刊行した。これにより、郷土の文化の理解を深めるように努めた。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：是川縄文館・博物館

取組	No.51	収蔵資料の活用			
取組概要	是川縄文館・博物館及び南郷歴史民俗資料館の収蔵資料や写真を、他館の展示や学校、福祉施設等へ貸し出し、資料の活用に努めます。				
実施状況	・貸出等に迅速に対応するため、収蔵資料の再整理を実施した。 ・貸出件数 <是川縄文館> 188件 <博物館> 105件 <南郷歴史民俗資料館> 35件				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	・収蔵資料の再整理により各種活用への迅速な対応が可能となった。 ・映像資料・実物資料・写真等の貸出により、資料の活用が図られた。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標 5 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	① 児童生徒の就学支援と教育相談の充実

所管課：学校教育課

取組	No.52	市奨学金の返済猶予及び申請要件の緩和			
取組概要	災害時の特別の理由により、八戸市奨学金の返済が困難になった人が猶予申請した場合、返済を猶予します。また、一般奨学金の申請要件である家計基準について、災害等の特別の理由により家計が急変した人に対して要件を緩和します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金の返済猶予について、随時、相談を受付。 (平成23年度に1件申請あり。平成24年度以降申請なし。) 平成23年度に申請要件を緩和して奨学金の募集を行ったが、申請がなかったため、23年度以降は通常の要件で募集を行っている。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	奨学金の返済猶予申請の受付を随時行っており、申請があり次第、対応する体制をとっている。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性Ⅲ 大災害を乗り越えるための知識と心構えを養います
目標	目標５ 被災者の支援と防災教育・防災体制の充実
施策の分類	② 教育施設の避難所機能の充実

所管課：教育総務課

取組	No.55	小・中学校における避難所機能の整備				
取組概要	指定避難所に指定されている小・中学校への蓄電機能付き太陽光発電設備の設置や体育館の高所照明器具等の落下防止対策など、非構造部材の耐震化を進め、避難所機能の強化を図ります。					
実施状況	/					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	○	○	○	○	—	
評価理由	/					<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標6 参加と連携の推進
施策の分類	① 学校・家庭・地域の連携の推進

所管課：教育指導課

取組	No.58	さわやか八戸グッジョブウィーク事業(再掲)			
取組概要	「地域の子どもは地域ではぐくむ」という視点で、学校・家庭・地域社会が連携し、中学校2年生を対象として、地域の事業所における3～5日間の職場体験活動を通して、望ましい勤労観及び職業観を育成します。				
実施状況	・全中学校（24校）で、中学校2年生を対象に、地域の事業所で職場体験を行った。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の一環として取り組むことができた。 ・各学校の事後アンケート結果から、望ましい勤労観及び職業観とともに、自己有用感（自分は役立っているという気持ち）の高揚が見られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標6 参加と連携の推進
施策の分類	② 教育資源の多様な活用

所管課：社会教育課

取組	No.59	教育支援ボランティア推進事業				
取組概要	優れた知識や技能を有し、かつ、学校および地域の教育活動に携わるに相応しい熱意と見識を有する人材を登録する人材バンクを開設し、その人材を市内の小・中学校および社会教育施設など地域における教育活動に活用します。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校へ教育支援ボランティアを派遣 <ul style="list-style-type: none"> ① 教科指導補助 9件 ② 特別支援 3件 計 12件 ・人材バンク登録者数（H30.3.31現在） <ul style="list-style-type: none"> 個人 13人 団体 4団体 					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	◎	◎	○	○	○	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ伴奏や読み聞かせなど、教科指導補助の件数が増加し、各学校が独自に探し出す地域のボランティアだけでは対応できないニーズに応えることができたが、学校が希望する分野とボランティア希望者が対応可能な分野が合致しないケースも見られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標7 社会教育・家庭教育の充実
施策の分類	① 社会教育施設等の整備・充実

所管課：社会教育課

取組	No.60	公民館の施設整備			
取組概要	小中野公民館の従来の生涯学習機能に加え、津波災害時の一時避難機能や地震災害時の防災拠点機能を併せもった施設として改築整備を行います。				
実施状況	/				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	△	○	—	—	—
評価理由	/				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：図書館

取組	No.62	図書館施設の整備			
取組概要	施設・設備の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えていることから、計画的な改修等を実施し、市民に安全で快適な利用環境を提供します。				
実施状況	・エアコン室外機修繕、閲覧机用椅子座面張替修繕、1階南側縦型ブラインド交換修繕、南郷図書館アップライト照明LED模様替え修繕等を実施した。				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に安全で快適な環境の中で、読書や調査研究をしてもらうため、年次計画どおりに実施した。 ・突発的な修繕にも対応した。 ・利用者サービスに影響しないよう、主に休館日を利用して実施した。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標8 青少年の健全育成
施策の分類	① 青少年の健全育成活動の推進

所管課：教育指導課

取組	No.64	少年相談センター活動			
取組概要	青少年を非行から守るため、街頭指導、少年指導研修会、少年相談、社会環境調査のほか、広報紙「かがみ」の発行を行います。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭指導等を行った。 (街頭指導262回、研修会1回、相談件数52件、社会環境調査随時) ・広報紙を発行した。 (年3回 各回24,000部) 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画(目標)に基づいて街頭指導及び相談活動等を行い、青少年の健全育成に努めた。 ・指導員研修会では、施設訪問等を行い、指導員の見識を深めた。 ・電話相談や来所相談を通して、悩みや問題の解決が図られた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標8 青少年の健全育成
施策の分類	② 青少年の交流の推進

所管課：教育指導課

取組	No.65	南部藩ゆかりの都市との交流事業			
取組概要	岩手県遠野市等との交流を通して、ふるさとを愛する心をはぐくみ、児童の健全育成を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校6年生を対象に、岩手県遠野市・紫波町への少年使節団派遣及び遠野市少年使節団の受け入れを行った。(今年度は31回目、児童累計1,361人) <p>派遣 八戸市立小学校6年生42人(各校1人)を遠野市と紫波町に派遣 遠野市児童26人と交流</p> <p>受入 遠野市立小学校6年生26人を八戸市に受け入れ</p>				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の感想文集「南部のぬくもり」を見ると、「八戸と遠野の多くの共通点を見つけることができ、ますます八戸が好きになった」、「南部藩の歴史を知り、楽しく交流できた」、「八戸の文化や歴史をさらに学び、みんなに伝えていきたい」等が書かれており、ふるさとを愛する心の醸成につながった。 ・ 学校に戻ってからの派遣児童の生活や活動に交流の体験が生かされ、保護者・学校からは、「研修後の成長が認められる」との声が寄せられた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：教育指導課

取組	No.66	青少年派遣交流事業(再掲)			
取組概要	青少年(中学生)を海外へ派遣し、訪問国の歴史、文化、教育等の視察や青少年との交流を行います。また、海外からの青少年交流団の受け入れ、諸外国の伝統・文化等に対する理解を深める教育を推進します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内中学校から参加し、アメリカ及びニューカレドニアへ派遣した。(24人) ・ 訪問国の歴史、文化、教育等の視察や、学校訪問、ホームステイを通して青少年との交流を実施した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般家庭へのホームステイを通じて、直に海外の生活、文化に触れることで、より国際理解が深まった。 ・ 全体の報告会や各学校の文化祭等で交流の様子や学んだことについて、プレゼンテーションソフトを使用するなど、工夫を凝らして発表した。 ・ 事前研修や報告会に向けての取組により生徒同士の交流も深められた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性IV 地域・社会ぐるみの子育てを支援します
目標	目標8 青少年の健全育成
施策の分類	③ 青少年の地域活動の推進

所管課：教育指導課

取組	No.67	青少年の地域活動の推進事業				
取組概要	中学生や高校生がボランティア活動でのさまざまな体験活動を通じ、青少年が地域社会の一員として自覚をもち、地域への関心を深めるよう努めるとともに、健全な仲間づくりを進めます。また、障がいのある児童生徒との交流を通してお互いの理解を深め、仲間意識を形成していくように努めます。					
実施状況	・各地区公民館、養護学校、各種イベントへ中高生ボランティアを派遣し活動した。 (登録者数 3,520人、活動者延べ 1,820人)					
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	◎	○	○	◎	◎	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動への参加を積極的に推進している学校が多くみられ、登録者数は平成28年度より増加した。実際の活動者数が減ったのは、学校行事と日程が重なったなどの理由である。 ・ 八戸花火大会実行委員会や八戸三社大祭の山車組等からボランティア派遣依頼があり、当事業の認知度が高まっていることが分かる。 ・ 感想文集には、「ボランティア活動したことで将来へのヒントを得ることができた。」「地域の方々とのふれあいが自分を成長させてくれた。」という声が多く上がっており、ボランティア活動の大切さを学ぶとともに、本人の成長につながっている。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止	

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	① 多様な学習機会の提供

所管課：社会教育課

取組	No.69	放送大学支援事業			
取組概要	生涯学習振興のため、放送大学学園が当市に設置する放送大学八戸サテライトスペースの運営を支援しています。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸地域地場産業振興センター4階の八戸サテライトスペース賃借料の半額を負担した。 ・放送大学が雇用する八戸サテライトスペース補助職員2人の人件費の全額を負担した。 ・「広報はちのへ」に学生募集記事を掲載した。(年2回) ・(1・2期) 入学者 156人 (男 65人/女 91人) 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内へのポスター掲示、チラシ設置、市民大学講座受講者へリーフレット配布などPR面でも協力した。 ・様々な年代の方が受講しており、幅広い世代に学習機会が提供されている。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：社会教育課

取組	No.70	公民館講座の開催			
取組概要	市内各地区公民館において各種講座(公民館活動教室、青年学級、女性学級、高齢者教室、市民学校、家庭教育学級、移動公民館、市民IT講習会)を開催し、多様な生涯学習の機会を提供します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・講座開催実績 講座回数：2,361回 学習時間：5,347時間 参加人数：41,705人				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の講座数や参加人数は減っているが、各館において土・日曜日や夜間の講座を開催するなど、公民館利用者の学習機会の拡充に努めた。 ・趣味の講座だけではなく、八戸の伝統芸能を習う講座や実生活に役立つ講座など、多様な講座の開催に努めた。 ・乳幼児を持つ母親、児童、青年、主婦、高齢者などを対象とした各種講座を実施しており、幅広い年代への多様な学習機会の提供に努めた。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	① 多様な学習機会の提供

所管課：社会教育課・総合教育センター

取組	No.71	ICT 講習会の開催			
取組概要	各地区公民館において「市民 IT 講習会」、総合教育センターにおいて「市民パソコン教室」を開催し、市民がパソコンやインターネットの使い方について学習する機会を提供します。				
実施状況	<社会教育課> ・平成29年度 講座開催実績 講座回数：117回 学習時間：338時間 参加人数：939人 <総合教育センター> ・市民パソコン教室を3回実施した。(各回2日間・40人定員) 参加人数：26人				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	・パソコンの基礎から活用法まで、市民のニーズに合わせた講座を開催した。				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：総合教育センター

取組	No.73	児童科学館各種体験活動			
取組概要	児童科学館にある設備や教育メディアを活用した体験活動の充実に努め、青少年の「科学する心」をはぐくみます。また、家庭の教育力の充実を図るために、視聴覚ライブラリーの映像利用や、講師を招いた学習会を開催します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度から指定管理者へ移行しており、第三期1年目の運営を行った。 わくわくサイエンス、市民星空観望会等、13種類の体験教室を開催し、延べ開催数306回、延べ参加人数31,072人だった。 視聴覚ライブラリー教材の貸出数は、16ミリ映画99件、ビデオ97件、DVD766件だった。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 参加募集に関して広くマスコミを活用するなどして、参加者の確保に努めた。 三戸郡の町村と連携して教育メディア利用促進に努めたことにより、特に中学校へのDVD貸出件数が46件増加した。 少年少女発明クラブや視聴覚教材を活用したお楽しみ劇場等、魅力ある体験教室づくりに向けて、体験活動の機会を豊富に提供して取り組んだ。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：総合教育センター

取組	No.74	「青少年のための科学の祭典」			
取組概要	児童科学館事業及び「青少年のための科学の祭典」事業を通して、幼児児童生徒の「科学する心」の育成と保護者、市民への啓発を図ります。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年から開始、平成29年度は22回目の実施。 来場者は4,057人。 協力した演示講師及び中・高生のボランティア数は、延べ741人。 61のサイエンスショーや工作ブースを展開し、来場した子どもたちに実験・体験する機会を提供した。 小中学校・高等学校の教員、大学職員、企業の方、市民団体の方々にブース展開を行い、協力した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 事後アンケートでは、「とても楽しかった」という回答が72%（「とても楽しかった」と「楽しかった」を合わせると96%） 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：図書館

取組	No.76	「調べる学習コンクール」の開催			
取組概要	子どもたちの調べる力向上の一助となり、図書館の利用促進につながるよう、児童生徒を対象に、図書館の資料を使った調べる学習コンクールを開催します。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「第7回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」作品募集 9月1日～10月1日 ・応募数 26点(小学生 19点、中学生 7点) ・審査結果 小学生：最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞2点、佳作4点 中学生：最優秀賞1点、佳作1点 ・全国コンクールへ小学生の表彰作品を2点推薦し、2点とも入賞した(優良賞 2点)。 ・夏休みの期間内に28年度入賞作品(全国・市内)の複製を、また表彰式終了後に29年度の入賞作品(市内)の複製を、1階カウンター前で展示した。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	◎	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクール実施にあたり、「調べる学習チャレンジ講座」を1回、「夏休み調べる学習相談会」を4回開催し、必要な情報の集め方、選び方をはじめ、深く考え自分の言葉でまとめるという「情報活用力」を学ぶ場を提供することができ、図書館の利用促進も図られた。 ・継続して調べる学習に取り組む児童が増え、コンクール全体のレベルアップにつながっている。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

所管課：図書館

取組	No.77	「市史講座」の開催			
取組概要	刊行された市史をもとに、主に市史の執筆者を講師として招き、八戸の歴史について講座を開設します。講座を通して、八戸の歴史に対する市民の興味・関心を高めます。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・回数 8回 ・参加者数 延べ331人 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	◎	○	◎	◎	◎
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・野外市内散策を行う「ふるさとてくてく旅」を4回行った。予定人数(各講座20人程度)を超える申込みがあり、参加者からは好評を得た。 ・『新編八戸市史 通史編Ⅱ近世』に関する講座を計4回開催し、定員を上回る参加者があった。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

方向性	方向性V あらゆる世代に多様な学習機会を提供します
目標	目標9 生涯学習の充実
施策の分類	② 特色ある社会教育施設活動の充実

所管課：博物館

取組	No.80	博物館資料の収集・公開			
取組概要	「新収蔵資料展」を開催するとともに、資料の保存管理に努める。				
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「新収蔵資料展」を開催し、平成28年度に収集した16件1,098点の資料の一部を紹介した。 入館者数 計 2,099人 ・新収蔵資料を整理し、適切に保存管理を行った。 				
評価	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	○	○	○	○	○
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・「新収蔵資料展」を開催し、新たな収集資料を公開した。 ・新収蔵資料を整理し、適切な保存管理をしている。 				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止

Ⅲ 参考資料

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成（平成 30 年 3 月 31 日現在）

職名	氏名	任期	就任年月日
教育長	伊藤 博章	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 32 年 3 月 31 日	平成 25 年 4 月 1 日
委員	築瀬 眞知雄	平成 26 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日	平成 25 年 4 月 1 日
委員	油川 育子	平成 27 年 10 月 1 日～ 平成 31 年 9 月 30 日	平成 27 年 10 月 1 日
委員	武輪 節子	平成 28 年 10 月 1 日～ 平成 32 年 9 月 30 日	平成 24 年 6 月 6 日
委員	大庭 文武	平成 29 年 10 月 1 日～ 平成 33 年 9 月 30 日	平成 25 年 10 月 1 日

(2) 会議の開催状況

会議は、毎月定例会を行い、必要に応じ臨時会を開催している。平成 29 年度は合計 40 件の議案を審議した。

定例会	12 回
臨時会	10 回

議案内容	
条例規則制定関係	14 件
人事関係（委員委嘱含む）	15 件
文化財指定関係	4 件
工事関係	1 件
その他	6 件
合計	40 件

(3) その他の活動状況

教育委員会に関わる会議、研修会、式典に出席し、委員として活動した。

種別	主な内容	回数
会議	市立学校長会議、青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会等	3 回
研修会	市町村教育委員会委員研修会、定例研修会等	7 回
式典	各小・中・高等学校記念式典、卒業証書授与式、各種関係団体式典、成人式等	22 回
学校訪問	学校訪問	21 回
その他	教育委員会関連行事、各種視察等	51 回

このほか、教育行政の運営に関する基本方針や教育費予算等を協議案件として、適宜、会議を開催しており、事務局との意見交換や質疑応答、委員間での協議を行った。

さらに、各委員においては、各種団体との意見交換等に参加するとともに、随時、教育施設を訪問した。